

令和元年度 子育てしやすい街づくりのためのアンケート調査 ～子どもと子育てに関する市民意識調査～

集計結果 報告書

佐世保市子ども未来部では子育て中の保護者の方を対象として、「子育てしやすい街づくりのためのアンケート調査～子どもと子育てに関する市民意識調査～」を実施しました。

その内容としては

「2人目の壁（※）は実際に存在すると思いますか？」

「2人以上のお子さんを持つことに対するためらいは？」

「産休や育休を取るときに気になることは？」

このような質問項目を設け、妊娠、出産、子育てや仕事の両立などについて、市民の皆さんから率直なご意見をいただきました。

※「2人目の壁」とは、「必要となる生活費や教育費に関連した家計の見通しや、仕事等の環境、年齢等を考慮し、第2子以後の出産をためらうこと」です。

●調査概要

調査期間：令和2年2月12日（水）～ 3月13日（金）

調査方法：市ホームページでのWebアンケート

調査対象：市内在住で子育て中の保護者の方（20歳～49歳）

質問項目：33問

公益財団法人1more Baby応援団が全国的に実施した「夫婦の出産意識調査2019」（以下「全国調査」という。）と同じ質問項目を一部設け、佐世保市と全国の比較を行っています。

●回答者数：439人

回答者内訳	フルタイム勤務ママ	187人
	パートタイム勤務ママ	94人
	専業主婦ママ	83人
	フルタイム勤務パパ	64人
	パートタイム勤務パパ	2人
	専業主夫パパ	1人
	その他	8人



【目次】

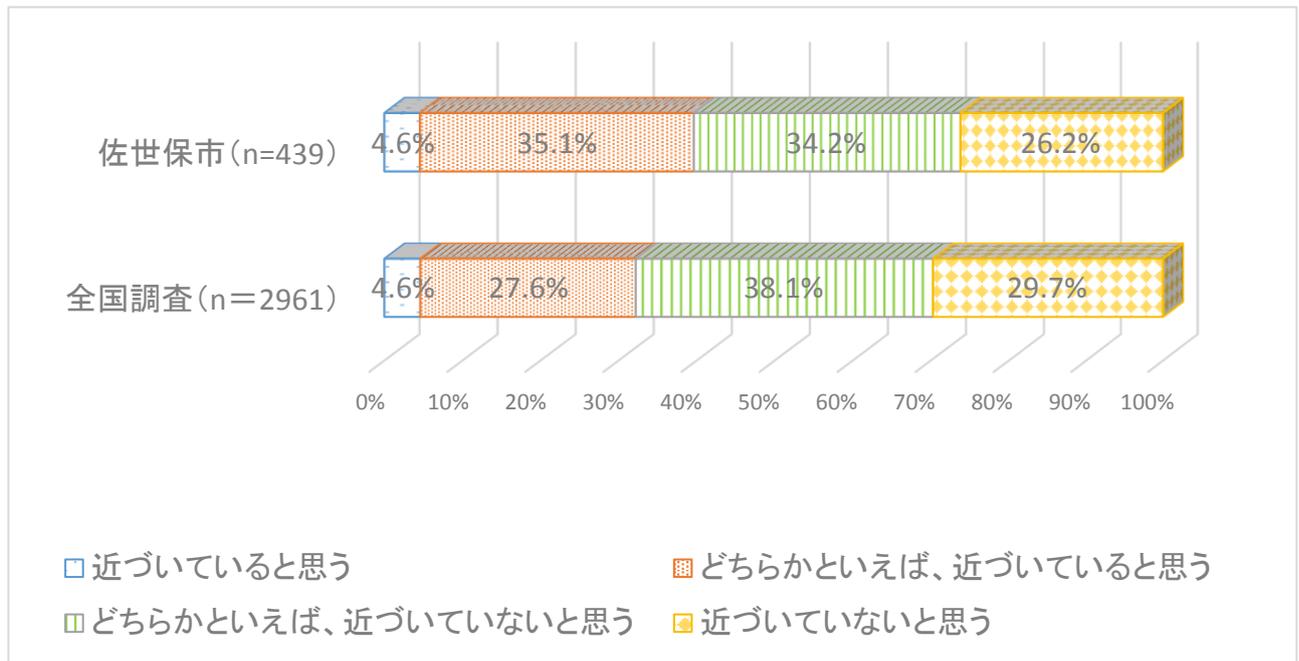
●主な調査結果	… P 2
●全体の集計結果	… P 6
●その他の自由記載	… P 26

主な調査結果（全国調査との比較）

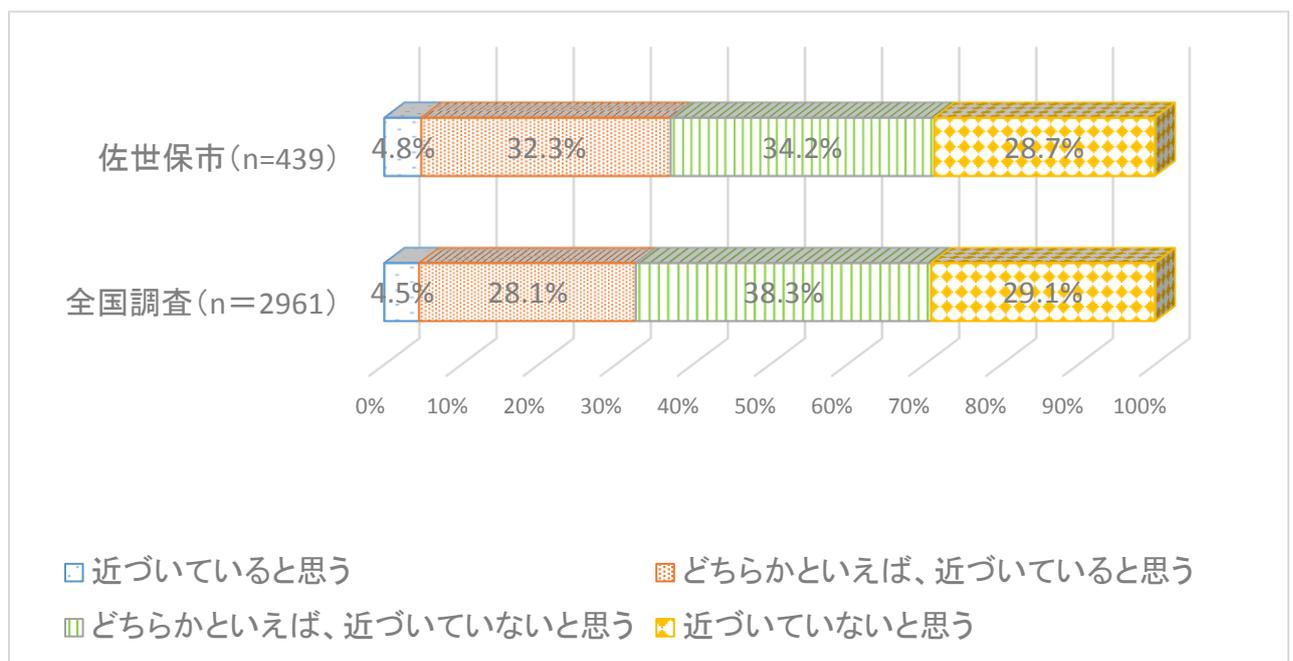
■ 佐世保市は子どもを「産みやすい」「育てやすい」街に近づいているか？

佐世保市は「産みやすい街」及び「育てやすい街」に「近づいている」がそれぞれ39.7%、37.1%となっており、全国調査よりも比較的「産みやすい」「育てやすい」街に「近づいている」と思う方が多い傾向にありますが、全体で4割に留まっている状況です。

子どもを「産みやすい」街（国）に近づいていると思うか



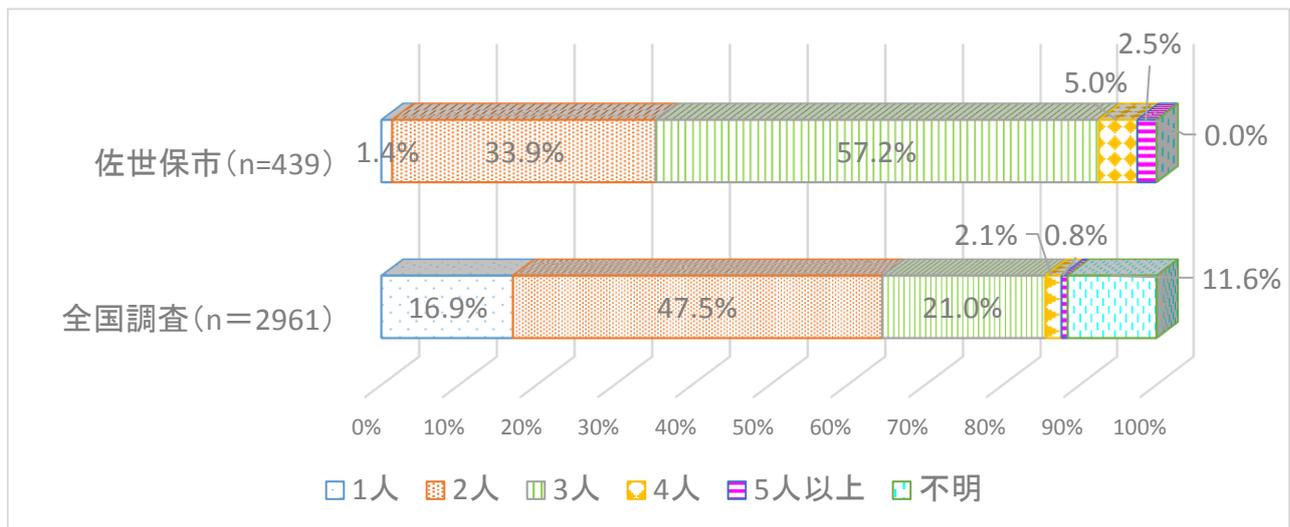
子どもを「育てやすい」街（国）に近づいていると思うか



■理想の子どもの数は？

持ちたい理想の子どもの人数は、全国調査の「2人」47.5%に対し、佐世保市は「3人」57.2と最も多く、また2人以上を希望する方の割合も全国調査の71.4%に対して佐世保市は98.6%と非常に高くなっており、より多くの子どもを望んでいることがわかりました。

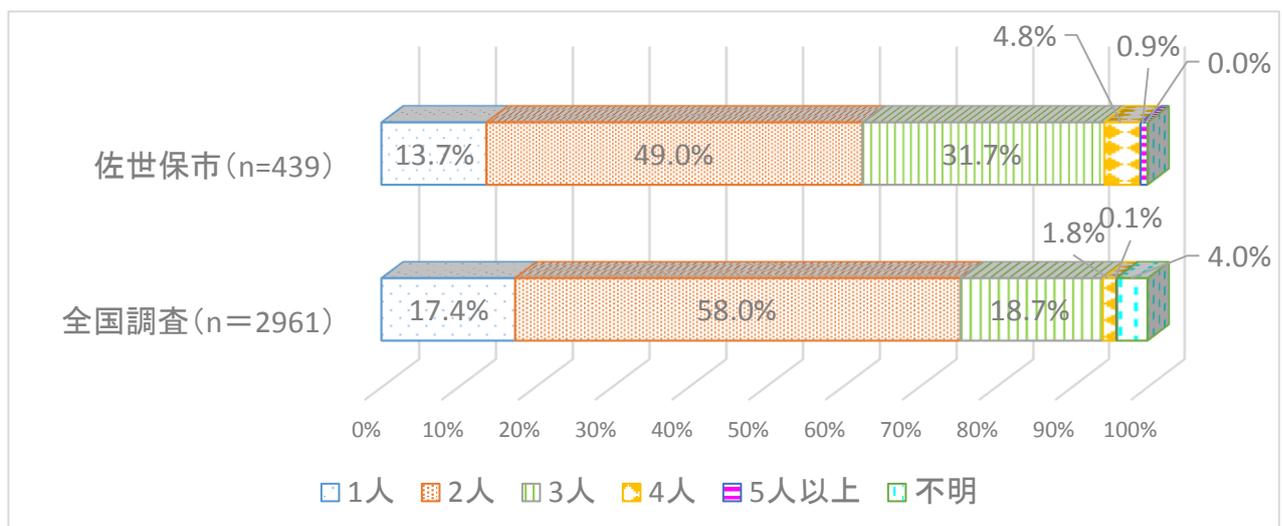
理想的だと思うお子さんは、何人ですか？



■実際に持つ（予定の）子どもの数は？

実際に持つ（予定の）子どもの人数については、全国調査の「2人」同様、佐世保市も「2人」が割合としては多くなっているが、「3人」の割合が全国調査の18.7%に比べて、31.7%と多い状況にあることがわかりました。

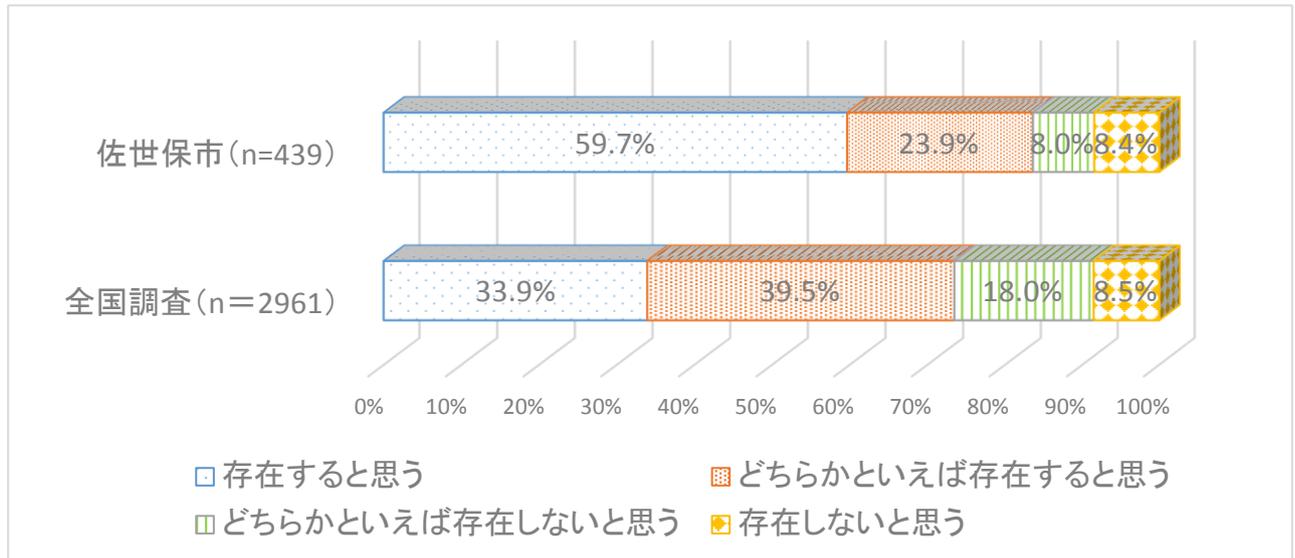
実際に持つ（予定の）お子さんの数は何人ですか？



■「2人目の壁」は存在するか？

「2人目の壁」の存在については、佐世保市が「存在する」と回答している人の割合が83.6%となっており、全国調査73.4%とよりも高い割合となっております。

「2人目の壁」は実際に存在すると思いますか？



■「2人目の壁」を感じる理由は？（佐世保市と全国上位5項目）

「2人目の壁」を感じる理由については、「子育てや教育など家計の見通し」の回答が佐世保市と全国調査ともに8割前後と最も多く、2位には「出産・子育ての年齢的な理由」で5割前後となっており、上位5つの項目はほぼ同様である。その中で大きな違いとしては、「1人目の子育てで手いっぱい」が全国調査の45.4%で3位であるのに対して、佐世保市は27.7%で6位となっていることから、全国よりも子育てに対する周りのサポートが充実している可能性が高いことがうかがえます。

「2人目の壁」を感じる理由として当てはまるもの

佐世保市 (n=300)			全国調査 (n=2176)		
1位	子育て教育など家計の見通し	78.0%	1位	子育て教育など家計の見通し	81.7%
2位	出産・子育ての年齢的な理由	46.7%	2位	出産・子育ての年齢的な理由	51.8%
3位	育児のストレスなど	46.0%	3位	1人目の子育てで手いっぱい	45.4%
4位	産休取得など仕事への影響	43.3%	4位	育児のストレスなど	41.6%
5位	病気・体力面での不安	30.0%	5位	産休取得など仕事への影響	40.1%

■産休や育休を取得するにあたって気にすることは？（佐世保市と全国上位5項目）

働くママとパパに「産休や育休を取得するにあたって気になること」を尋ねたところ、佐世保市、全国調査ともに「上司の目（態度・反応）が気になる（気になった）」が4割前後でもっとも多く、似たような傾向がうかがえるが、全国調査2位は「特に気になる（気になった）ことはない」33.7%となっており、佐世保市は6位で18.4%となっており、産休や育休を取得しやすい環境について全国と比べて課題のあることがうかがえます。

産休や育休を取得するにあたって気にすること

佐世保市（n=347）

1位	上司の目（態度・反応）が気になる（気になった）	39.2%
2位	同僚の目（態度・反応）が気になる（気になった）	38.0%
3位	育休が空けてすぐに次の子どもを授かると、育休をとりづらい空気がある（あった）	30.3%
4位	何となく職場に育休を取りづらい空気がある（あった）	24.8%
5位	キャリアに影響すると感じる（感じた）	20.5%

全国調査（n=1689）

1位	上司の目（態度・反応）が気になる（気になった）	40.1%
2位	特に気になる（気になった）ことはない	33.7%
3位	同僚の目（態度・反応）が気になる（気になった）	33.4%
4位	何となく職場に育休を取りづらい空気がある（あった）	24.0%
5位	キャリアに影響すると感じる（感じた）	19.7%

■2人目以降の子どもを持つことを決めたタイミングやきっかけは？（佐世保市と全国上位5項目）

お子さんを2人以上お持ちの方に「2人目以降の子どもを持つことを決めたタイミングやきっかけ」を尋ねたところ、佐世保市、全国調査ともに上位5項目が同様であったが、佐世保市が「産むなら今しかないと感じたから」46.7%が最も多かったのに対して、全国調査では「1人目のことを考えて持とうと決めた」41.1%でした。また、1位から4位までは年齢や時期に関する理由であったのに対して、ともに5位は「子育てに楽しさを感じられたから」と子育ての良さを実感した理由でした。

2人目以降の子どもを持つきっかけやタイミングは？

佐世保市（n=340）

1位	産むなら今しかないと感じたから	46.7%
2位	1人目のことを考えて持とうと決めた	40.1%
3位	もともとそういう計画だったから	31.6%
4位	配偶者（パートナー）との話し合いで決めたから	27.0%
5位	子育てに楽しさを感じられたから	15.8%

全国調査（n=1214）

1位	1人目のことを考えて持とうと決めた	41.1%
2位	配偶者（パートナー）との話し合いで決めたから	36.7%
3位	産むなら今しかないと感じたから	34.9%
4位	もともとそういう計画だったから	25.6%
5位	子育てに楽しさを感じられたから	21.5%

■ 2人以上の子どもを産んで（育てて）よかったことは？（佐世保市上位5項目における全国の割合）

お子さんを2人以上お持ちの方に「2人以上の子どもを産んで（育てて）よかったこと」を尋ねたところ、佐世保市では「にぎやかで楽しかった」75.3%と最も多く、全国調査でも78.2%と高い割合の方が同様の回答をしていることがわかりました。佐世保市で4位の「両親が喜んでくれた」30.6%については全国では52.7%とやや回答割合に差が生じました。

2人以上の子どもを産んで（育てて）よかったと思ったことは？

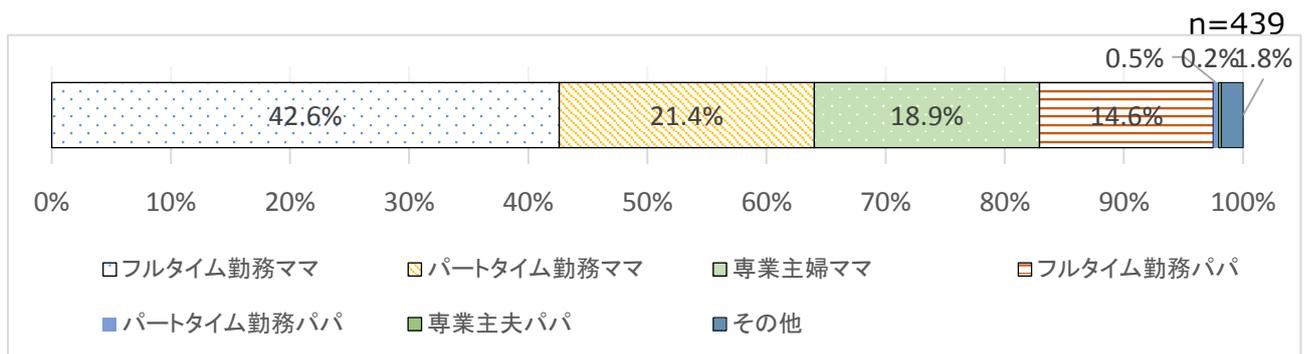
		佐世保市 (n=340)	全国調査 (n=1214) での割合
1位	にぎやかで楽しかった	75.3%	78.2%
2位	兄弟姉妹で遊べるようになった	73.7%	69.2%
3位	性別の違う子どもが育てられた	38.5%	42.6%
4位	両親が喜んでくれた	30.6%	52.7%
5位	子どもが将来支え合えるようになった	28.9%	32.7%

全体の集計結果（単純集計）

問1 このアンケートには、どなたがお答えされていますか？

回答者の内訳は、「女性」82.9%、「男性」15.3%でした。

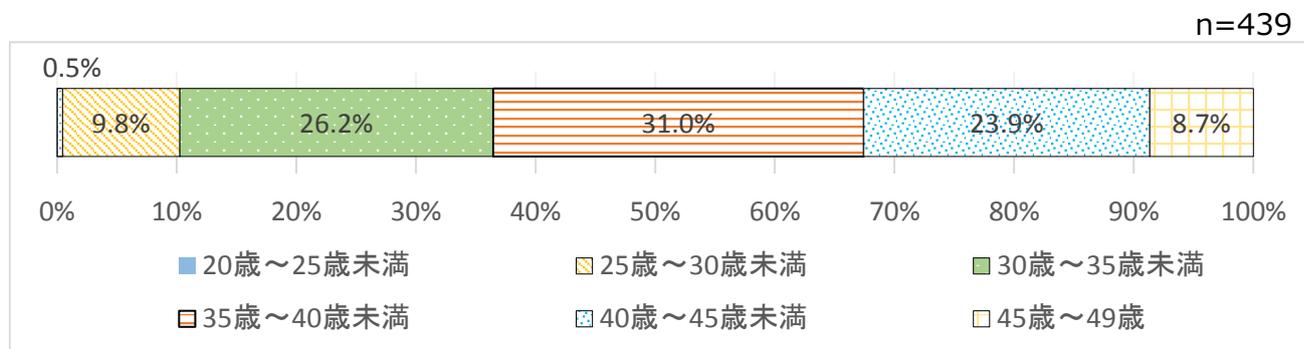
最も多かった回答者は「フルタイム勤務ママ」で42.6%、次に多かったのは「パートタイム勤務ママ」21.4%、「専業主婦ママ」18.9%となっており、仕事をしているママの回答が多い一方で、『フルタイム勤務パパ』の回答は14.6%、「パートタイム勤務パパ」0.5%、「専業主夫パパ」0.2%、「その他」1.8%でした。



問2 回答者の年齢を教えてください。

回答者の年齢で最も多かったのは「35歳～40歳未満」で31.0%でした。次に多かったのは「30歳～35歳未満」で26.2%となっており、30歳代の回答者が57.2%でした。

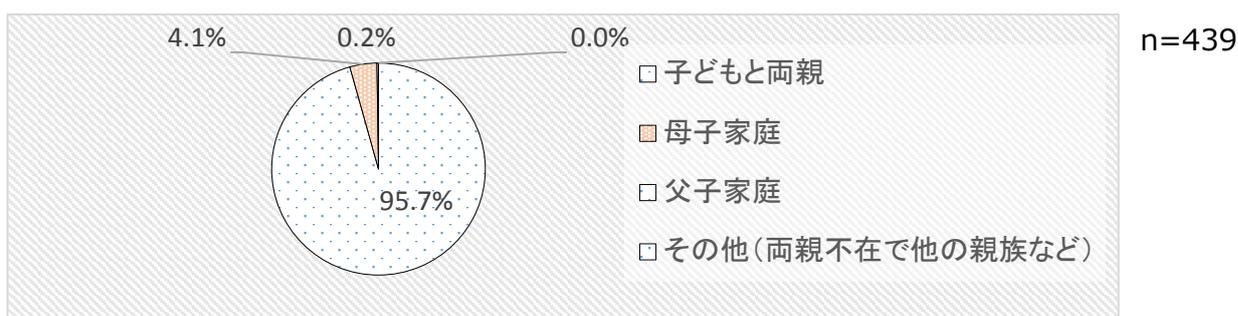
また、40歳代全体では32.6%であり、最も少なかったのは「20歳～25歳未満」で0.5%、20歳代全体でも10.3%でした。



問3 お子さんから見た祖父母を除いた家族構成をお答えください。

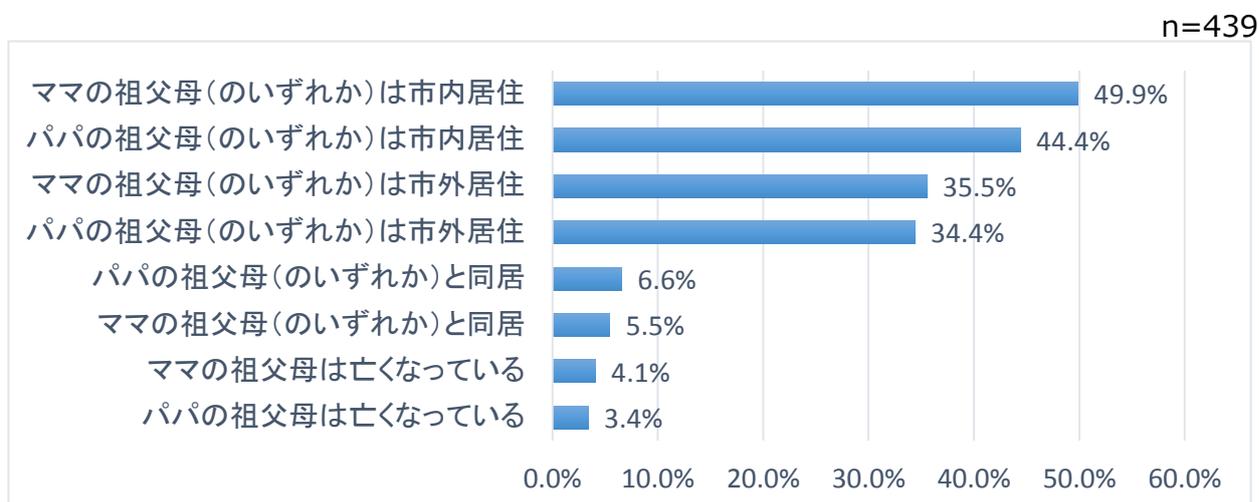
回答者の家族構成で最も多かったのは「子どもと両親」で95.7%とほとんどを占めました。

次に多かったのは「母子家庭」で4.1%、「父子家庭」は0.2%で、ひとり親家庭合わせて4.3%でした。なお、「その他（両親不在で他の親族など）」は0%でした。



問4 お子さんから見た祖父母（のいずれか）の居住状況について当てはまるものすべてを、次の中からお答えください。

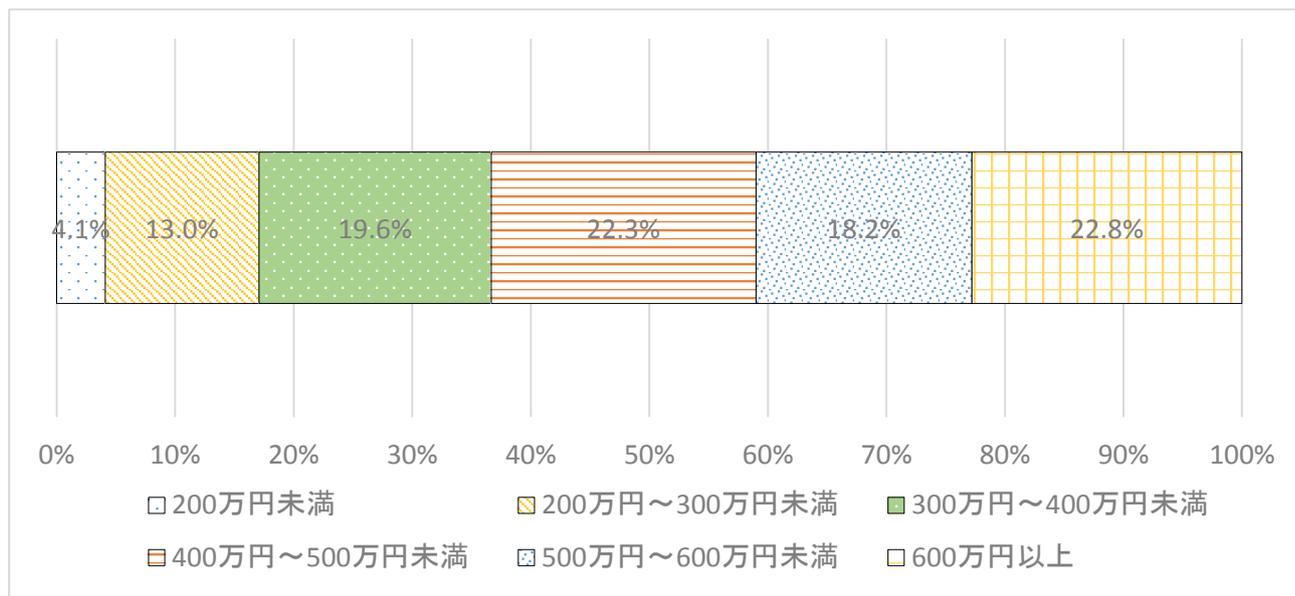
回答者のお子さんから見た祖父母の居住状況で一番多かったのは、「ママの祖父母（のいずれか）は市内居住」で49.9%、続いて「パパの祖父母（のいずれか）は市内居住」で44.4%、「ママの祖父母（のいずれか）は市外居住」が35.5%、「パパの祖父母（のいずれか）は市外居住」が34.4%の割合でした。「祖父母（のいずれか）と同居している人」の割合は合わせて12.1%でした。祖父母は市内居住されているが、同居していないご家庭が多い状況となっています。



問5 世帯全員の収入を合わせた手取り額（収入から税や保険料を支払った後の値）をお答えください。

回答者の世帯全員の手取り額についてもっとも多かったのが、「600万円以上」で22.8%、次いで「400万円～500万円未満」22.3%、「300万円～400万円未満」19.6%、「500万円～600万円未満」18.2%、「200万円～300万円未満」13.0%で続き、もっとも少ないのが「200万円未満」4.1%となっています。

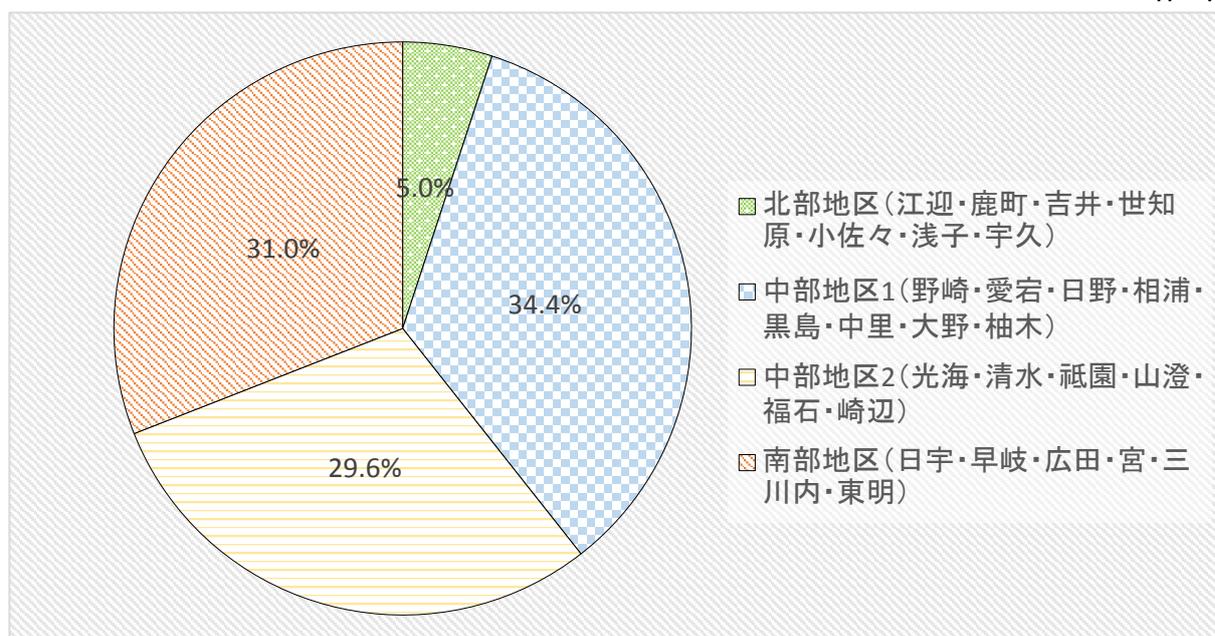
n=439



問6 佐世保市のどの地区（概ね中学校区）にお住まいですか？

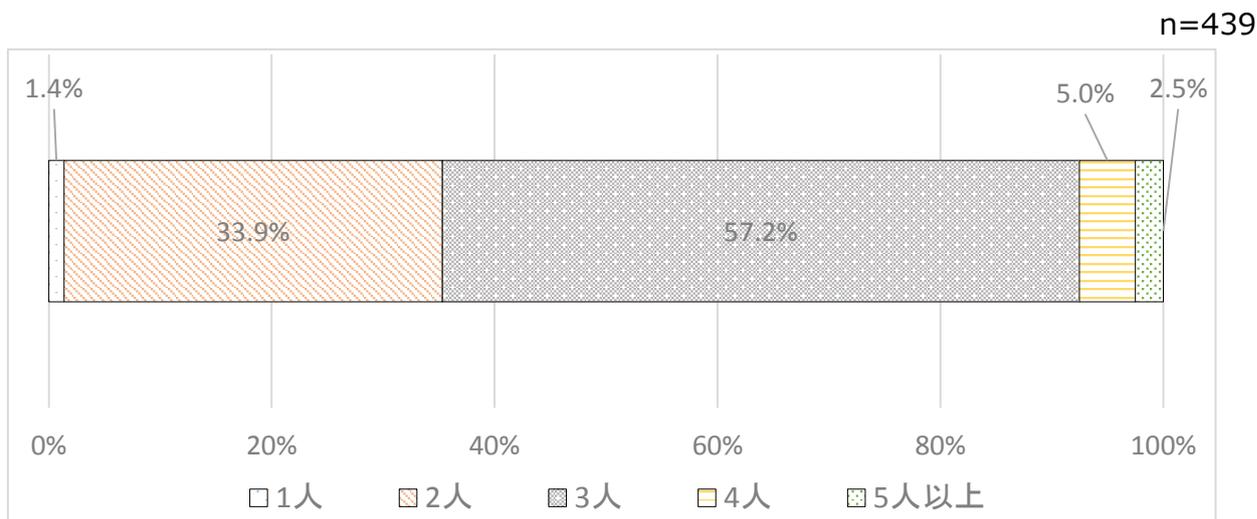
回答者のうち、最もお住まいの多い地区は「中部地区1（野崎・愛宕・日野・相浦・黒島・中里・大野・柚木）」で34.4%、続いて「南部地区（日宇・早岐・広田・宮・三川内・東明）」31.0%、「中部地区2（光海・清水・祇園・山澄・福石・崎辺）」29.6%、もっとも回答者数が少なかった地区は「北部地区（江迎・鹿町・吉井・世知原・小佐々・浅子・宇久）」で5.0%でした。

n=439



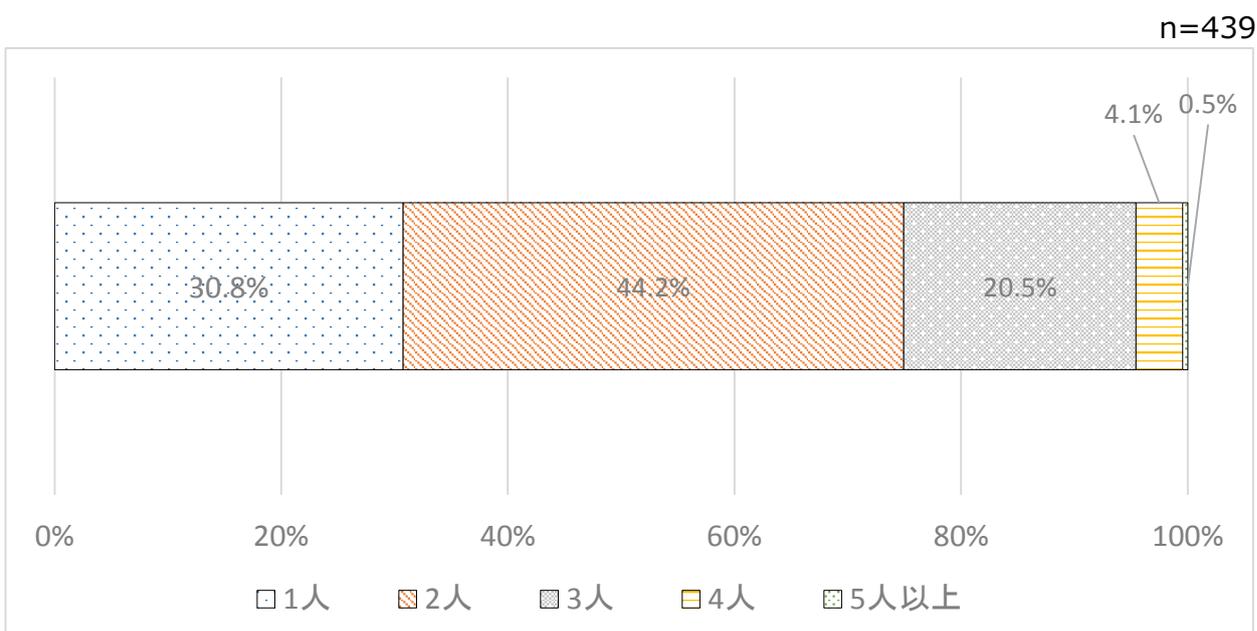
問7 理想的だと思うお子さんは、何人ですか？

理想的だと思う子どもの数で最も多かったのは「3人」で57.2%、次いで「2人」が33.9%、「4人」が5.0%、「5人以上」が2.5%、「1人」が1.4%でした。2人から4人の合計が96.1%となり、全体のほとんどを占めました。（なお、昨年度は「3人」54.4%、「2人」33.8%、「4人以上」が10.7%の回答割合となっており、ほぼ今年度と同水準でした。）



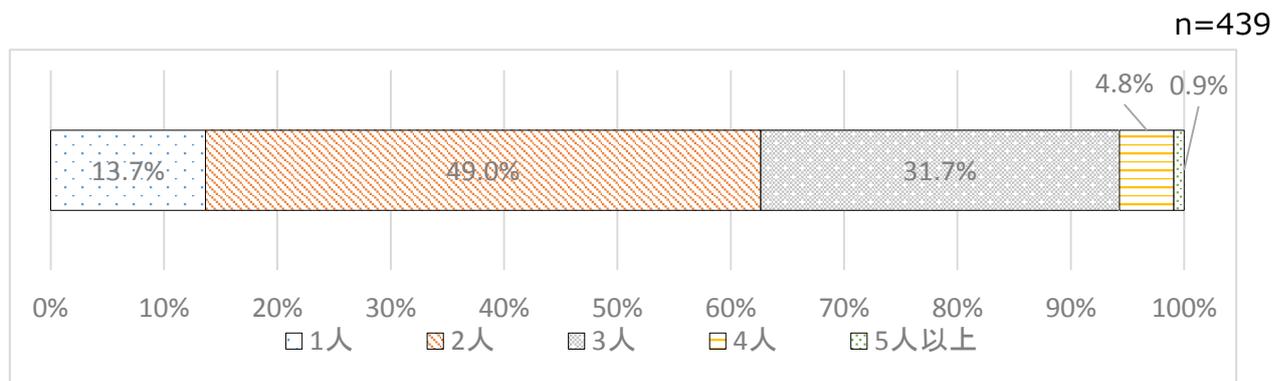
問8 お子さんは、現在、何人ですか？

現在の子どもの数で最も多かったのは「2人」で44.2%、次いで「1人」が30.8%、「3人」が20.5%、「4人」が4.1%、「5人以上」が0.5%となっており、「2人」と「3人」の合計が64.7%となっております。（なお、昨年度は「2人」41.8%、「1人」33.1%、「3人」19.2%、「4人」4.4%、「5人以上」が1.5%の回答割合となっており、ほぼ今年度と同水準でした。）



問9 実際に持つ（予定の）お子さんの数は何人ですか？

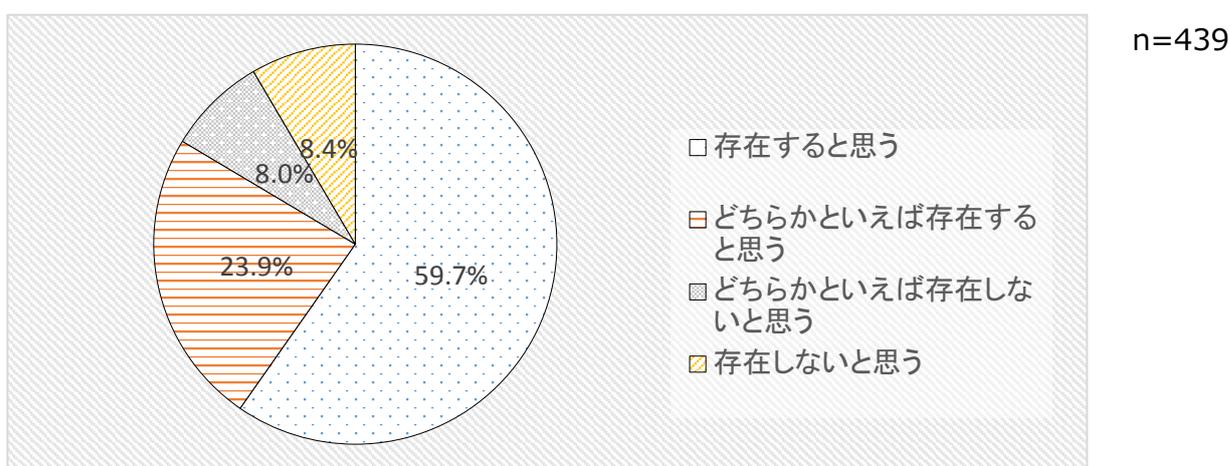
実際に持つ（予定の）子どもの数で最も多かったのは「2人」で49.0%、次いで「3人」で31.7%、「1人」が13.7%、「4人」が4.8%、「5人以上」が0.9%となっており、問7の理想的だと思う子どもの数「3人」が57.2%、「2人」33.9%と比較すると「2人」と「3人」の割合が逆となっており、理想と現実の違いがみられます。（なお、昨年度は「2人」49.8%、「3人」26.4%、「1人」15.8%、「4人」以上8.0%の回答割合となっており、今年度は「1人」の割合が微減し、「3人」の割合が微増でした。）



問10 様々な理由により、2人目以上のお子さんを持つことをためらってしまう「2人目の壁」という考え方がありますが、あなた自身のご家庭を考えた時に、「2人目の壁」は実際に存在すると思いますか。

「2人目の壁」について、「存在すると思う」と回答した方が59.7%、「どちらかといえば存在すると思う」と回答した方が23.9%と合わせて83.6%と全体の多くを占めており、なんらかの理由で「2人目の壁」を感じている方が多いことがうかがえます。なお、「2人目の壁」について、「どちらかといえば存在しないと思う」が8.0%、「存在しないと思う」と回答した方が8.4%でした。

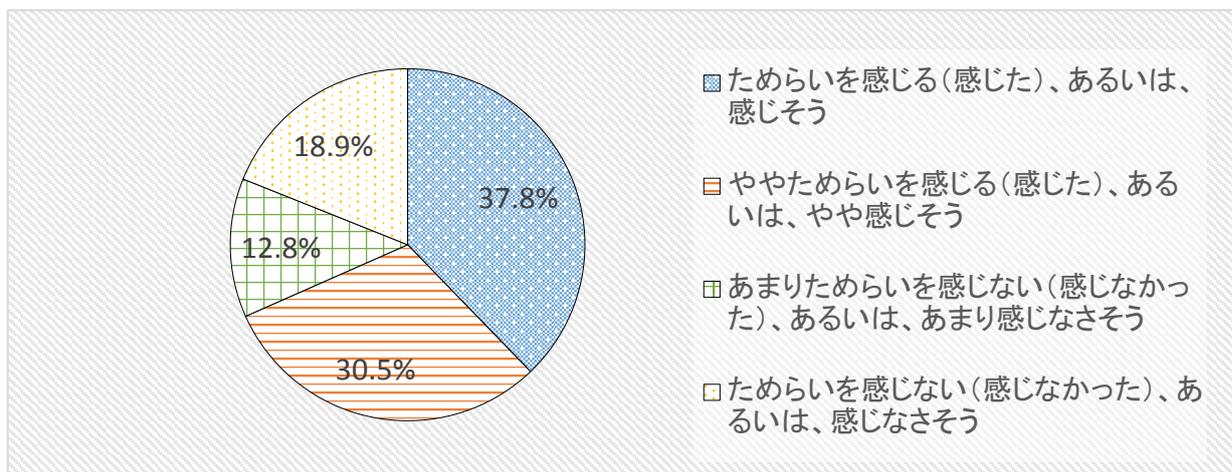
（なお、昨年度は「存在すると思う」52.5%、「どちらかといえば存在すると思う」27.4%、「どちらかといえば、存在しないと思う」11.8%、「存在しないと思う」8.2%の回答割合であり、今年度は「存在すると思う」の割合が7%ほど、増加しました。）



問11 あなたのご家庭では、特に2人目以上のお子さんを持つことに対して、ためらいを感じますか（感じましたか）、あるいは、今後感じそうですか。

「2人目以上の子どもを持つこと」について、「ためらいを感じる（感じた）、あるいは感じそう」と回答した方が37.8%、「ややためらいを感じる（感じた）、あるいはやや感じそう」と回答した方が30.5%と合わせて68.3%を占めております。一方で、「あまりためらいを感じない（感じなかった）、あるいはあまり感じなさそう」と回答した方が12.8%、「ためらいを感じない（感じなかった）、あるいは感じなさそう」と回答した方が18.9%といたしました。

n=439

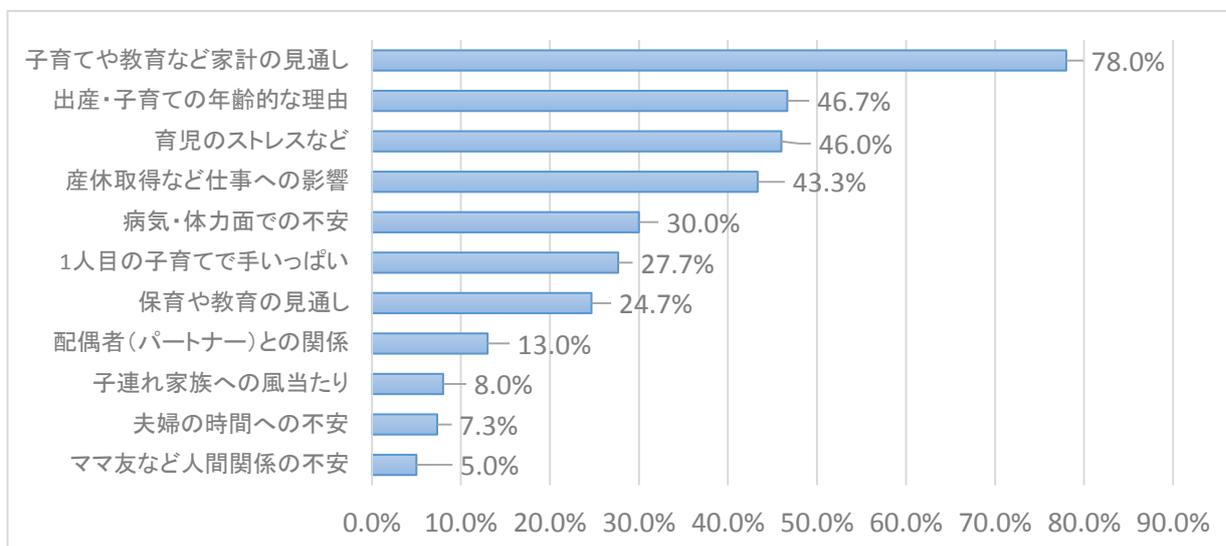


問12 「2人目の壁」を感じる理由としてあてはまるものすべてを次の中から選んでください。（問11で「ためらいを感じる～」または「ややためらいを感じる～」を選んだ方にお尋ねします。）

「2人目の壁」を感じる理由として最も多かったのは「子育てや教育など家計の見通し」で78.0%、次いで「出産・子育ての年齢的な理由」46.7%、「育児のストレスなど」46.0%、「産休取得など仕事への影響」43.3%となっており、経済的理由、年齢、育児に対する不安、仕事と子育ての両立といった要素が主な理由となっております。

（なお、昨年度の上位4つは「子育てや教育など家計の見通し」82.8%、「出産・子育ての年齢的な理由」48.5%、「産休取得など仕事への影響」48.2%、「育児のストレスなど」46.9%となっており、今年度とほぼ一緒でした。）

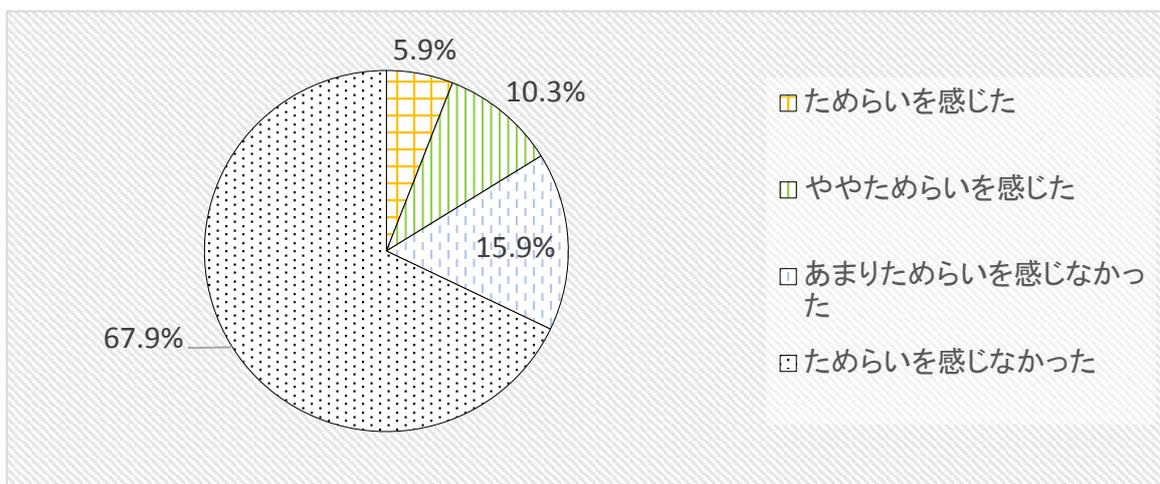
n=300



問13 2人目同様に、1人目のお子さんを持つことに対して、ためらいを感じましたか。

1人目のためらいについては、67.9%が「ためらいを感じなかった」、15.9%が「あまりためらいを感じなかった」と回答しており、2人目以上の子どもを持つことへのためらい（「ためらいを感じなかった」18.9%「あまりためらいを感じなかった」12.8%）と比較しても、ためらいの意識は低くなっています。（なお、昨年度は「ためらいを感じなかった」68.4%、「あまりためらいを感じなかった」16.0%となっており、今年度と同様の結果でした。）

n=439

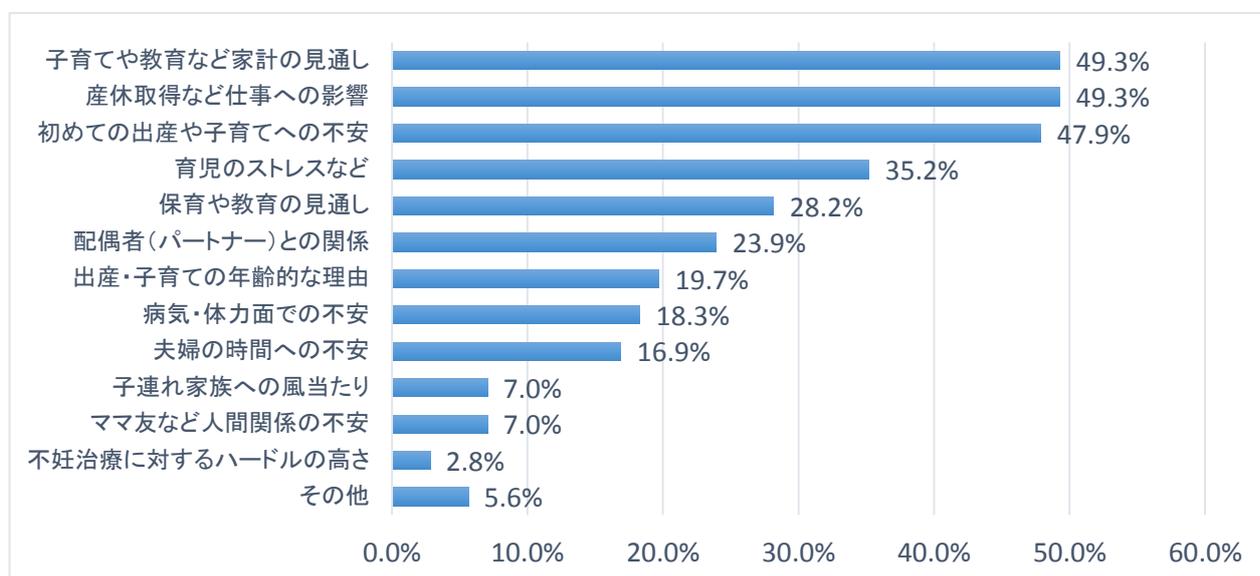


問14 1人目のお子さんを持つことにためらいを感じた理由として当てはまるものすべてを、次の中から選んでください。

「1人目の子どもを持つことへためらい」を感じる理由として、最も多かったのは「子育てや教育など家計の見通し」と「産休取得など仕事への影響」で、ともに49.3%、次いで「初めての出産や子育てへの不安」47.9%、「育児へのストレス」35.2%となっており、「2人目の壁」と同様に経済的理由や仕事と子育てへの両立といった要素もある一方で初めての子育てに対して不安を抱えているといった要素が主な理由となっています。

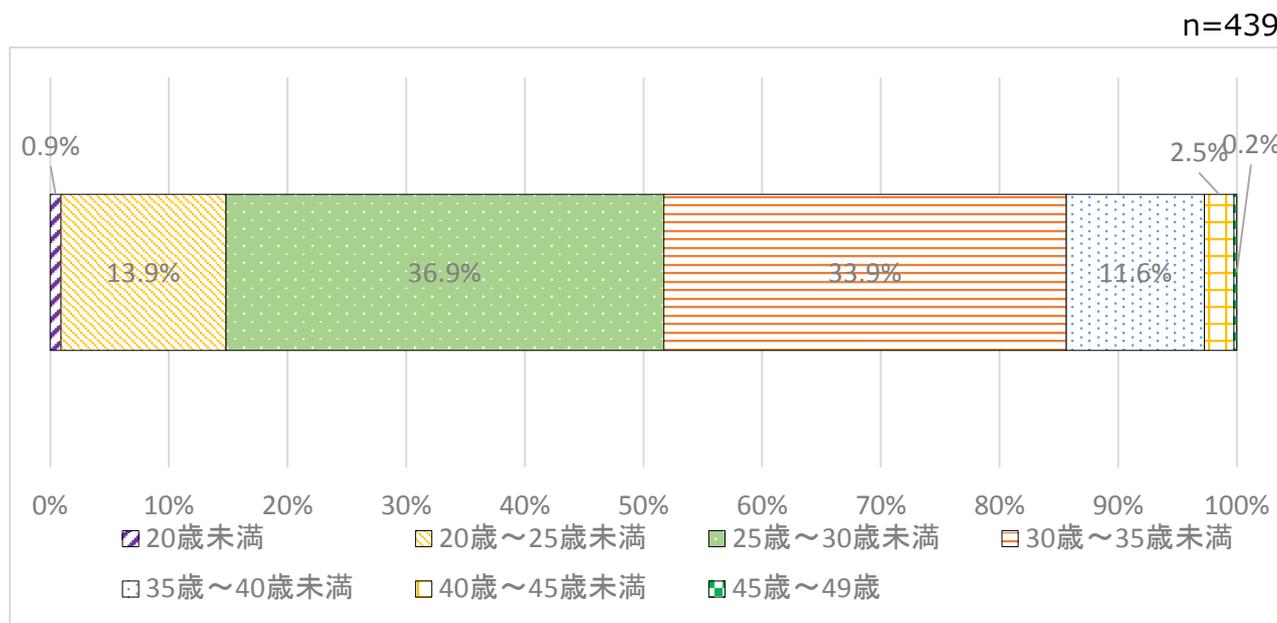
（なお、昨年度のためらいを感じる理由の上位3つは「子育てや教育など家計の見通し」64.9%、「初めての出産や子育てへの不安」54.1%、「産休取得など仕事への影響」52.7%の回答割合となっており、今年度とほぼ同等でした。）

n=71



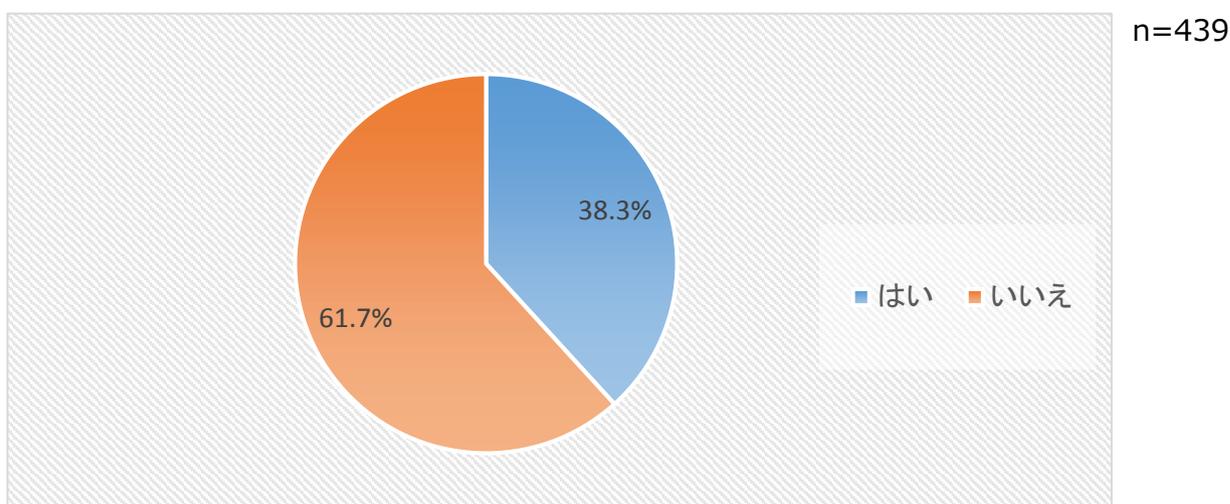
問15 1人目のお子さんを出産された年齢をお答えください。

1人目の子どもを出産した年齢で最も多かったのは「25～30歳未満」で36.9%、次いで「30歳～35歳未満」33.9%、「20歳～25歳未満」13.9%、「35歳～40歳未満」11.6%となっており、「25歳～40歳未満」までが全体の82.4%となっています。（なお、昨年度は「30歳～35歳未満」が最も多く、35.2%、次いで「25歳～30歳未満」で32.7%でした。）



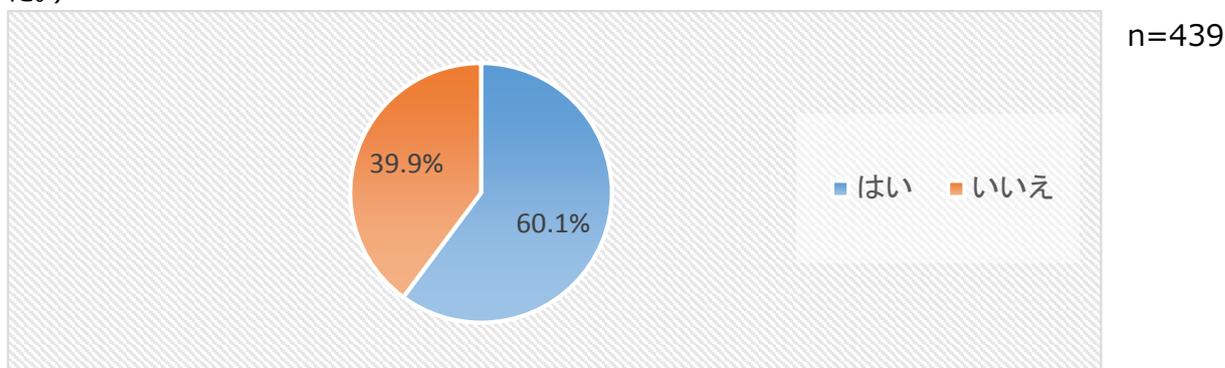
問16 「保活」がなければ、もう1人子どもを持ちたい（持ちたかった）ですか？

「保活」いわゆる「子どもを保育所に入れるために保護者が行う活動」がなければ、もう1人子どもを持ちたい（持ちたかった）について、「いいえ」と回答した方が61.7%となっています。（なお、昨年度は「はい」が46.2%、「いいえ」が53.8%と今年度が昨年度より、「はい」の割合が減っております。）



問17 子育て期間の働く時間（短時間勤務等）や場所（テレワーク・在宅勤務）を自由に選ぶことができれば、もう1人子どもを持ちたい（持ちたかった）ですか？

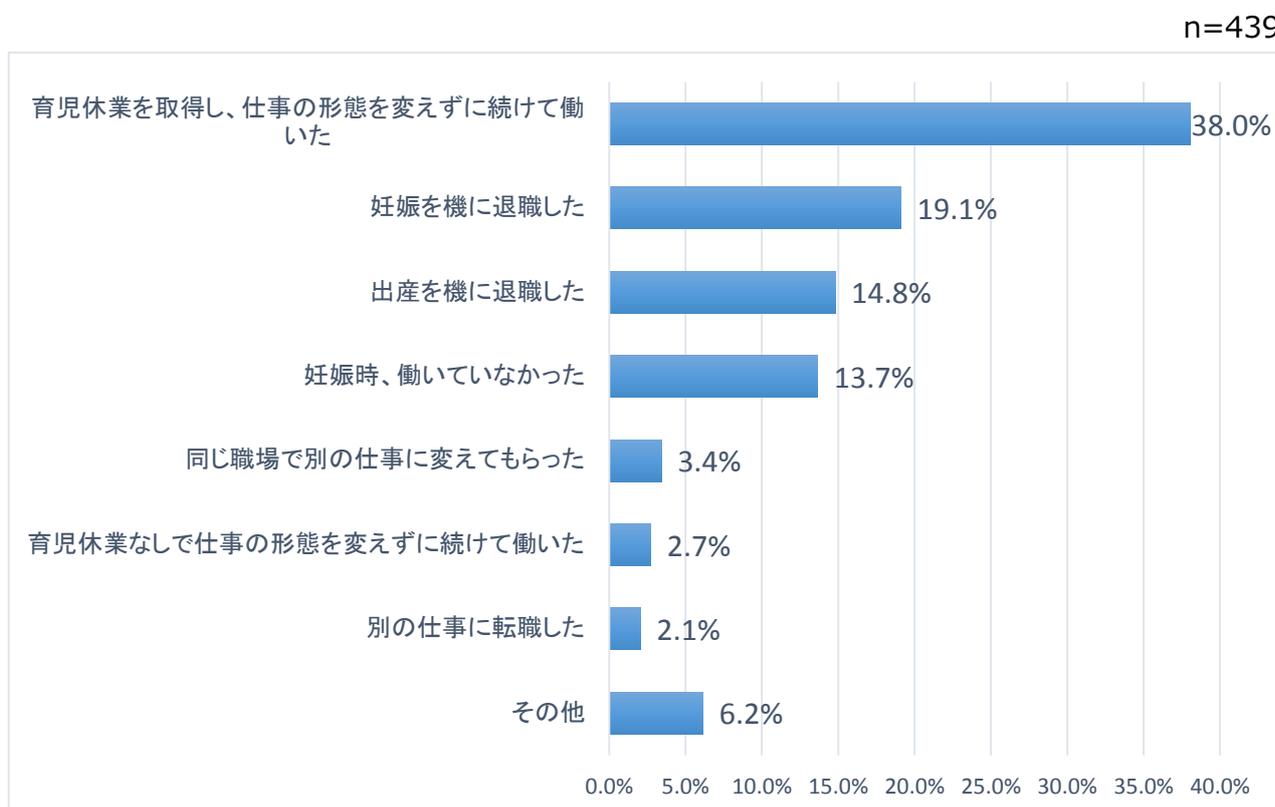
働くママが「制度と企業風土が整えば、働き続けたいか？」については、「はい」の回答が60.1%でした。（なお、昨年度は「はい」が61.6%、「いいえ」が38.4%となっており、ほぼ今年度と同水準でした。）



問18 1人目のお子さんの妊娠・出産を理由に就労形態に変化がありましたか？パパはママ（妻）についてお答えください、

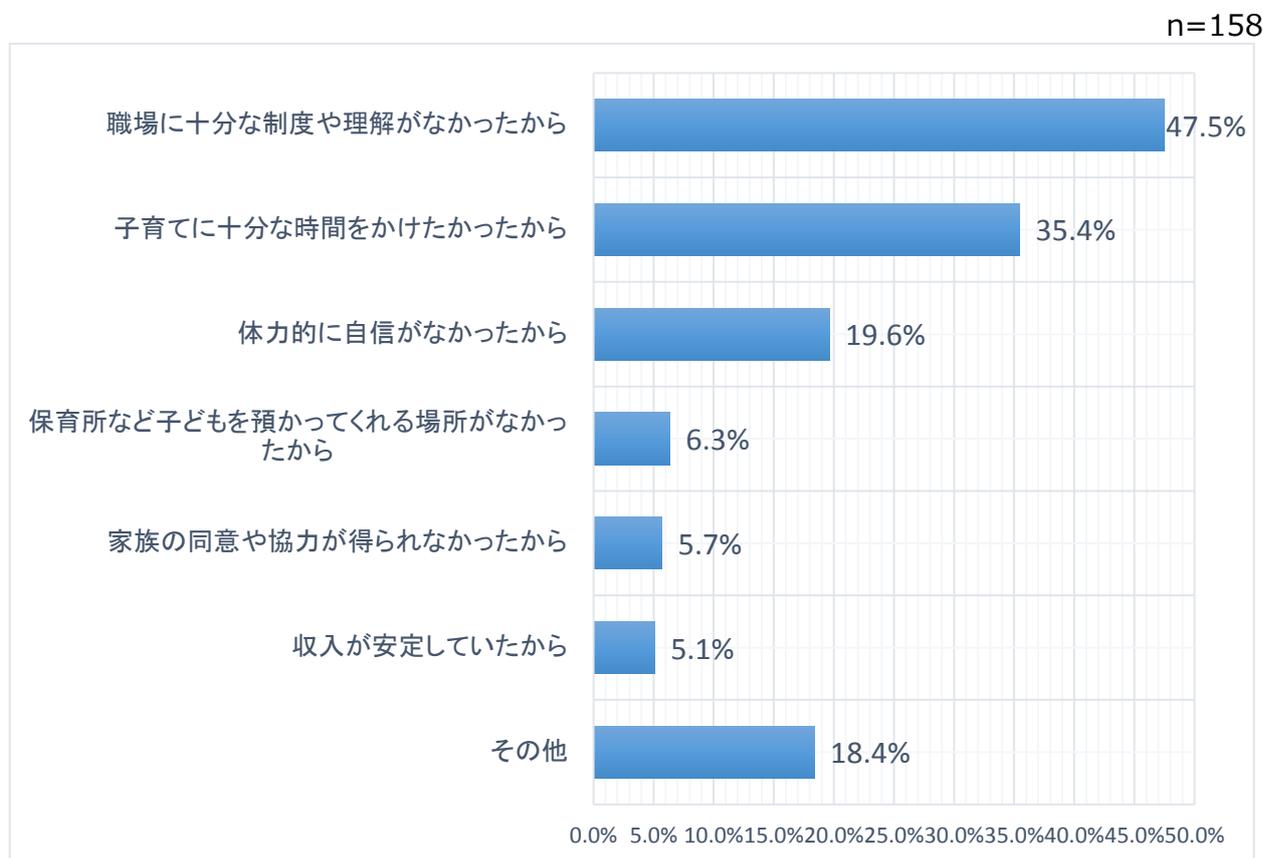
もっとも回答が多かったのが「育児休業を取得し、仕事の形態を変えずに続けて働いた」で38.0%、次いで「妊娠を機に退職した」19.1%、「出産を機に退職した」14.8%、「妊娠時働いていなかった」13.7%となっており、育児休業等の制度が浸透している一方で、妊娠・出産を機に退職せざるを得ないケースが合わせて33.9%となっています。

（なお、昨年度は今年度同様、「育児休業を取得し、仕事の形態を変えずに続けて働いた」44.8%、次いで「妊娠を機に退職した」17.4%でした。）



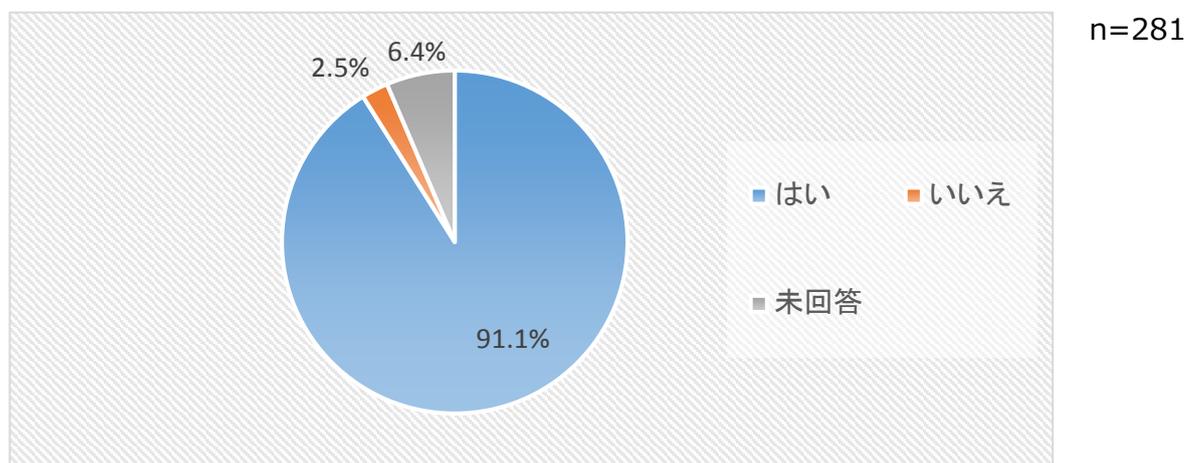
問19 退職または転職した理由として当てはまるものすべてを選んでください。（問18で「妊娠を機に退職した」「出産を機に退職した」「別の仕事に転職した」と回答した方にお尋ねします。）

退職または転職した理由として最も多かったのが「職場に十分な制度や理解がなかったから」で47.5%、次いで「子育てに十分な時間をかけたかったから」35.4%、「体力的に自信がなかったから」19.6%となっており、職場の制度や理解等が整備できていない状況もある一方で、子育てに集中したいと思って退職・転職した方もいるようです。



問20 妊娠や出産、子育てに関する制度と企業風土が整っていれば、働き続けたいですか？（フルタイム勤務ママとパートタイム勤務ママにお尋ねします。）

9割の方が「妊娠や出産、子育てにかんする制度と企業風土が整っていれば、働き続けたい」と回答しております。（なお、昨年度は「働き続けたい」が76.8%と今年度より、回答割合が少なくなりました。）

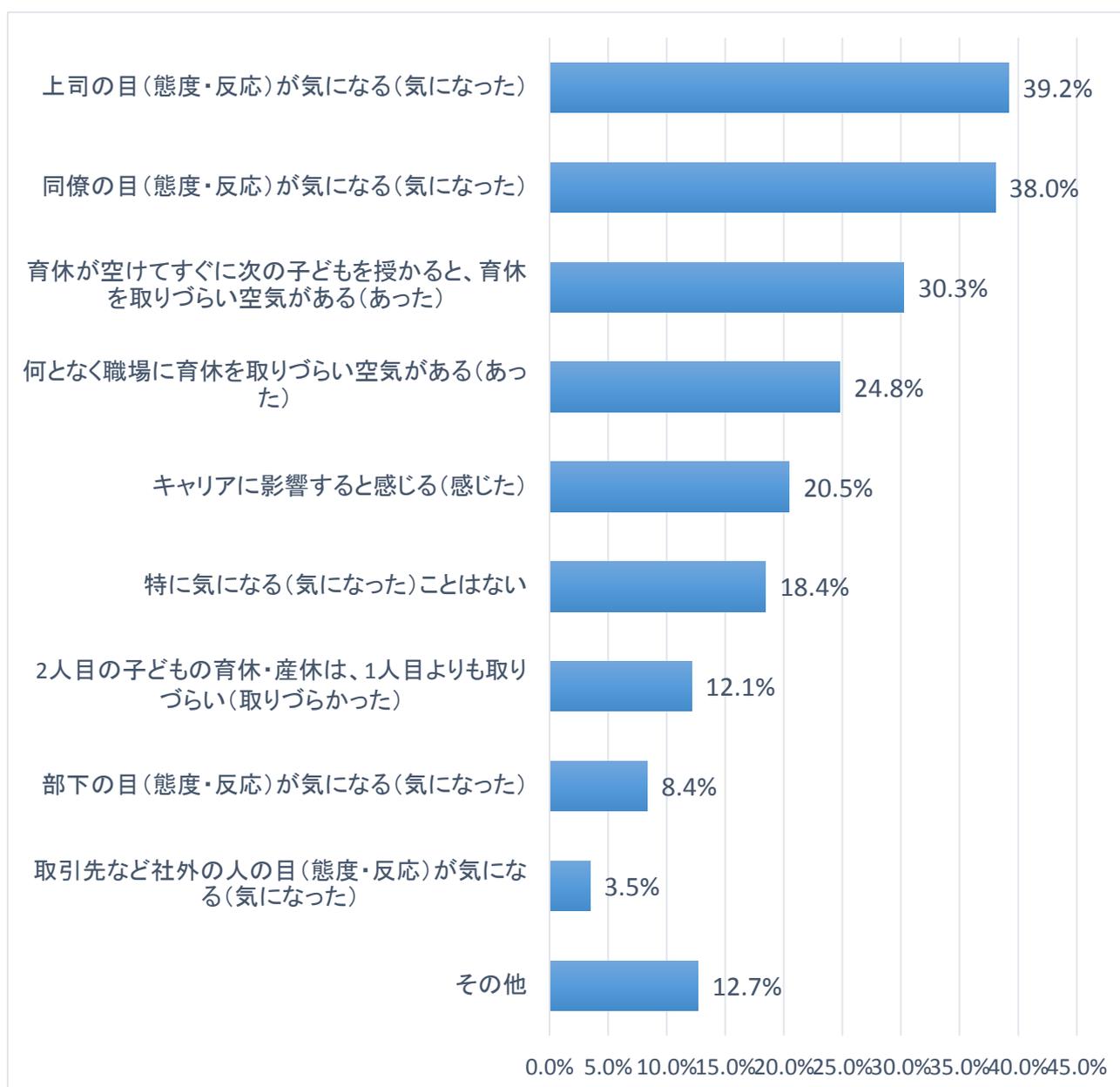


問21 あなたが産休や育休を取得するにあたって気になる（気になった）ことを次の中から3つまで選んでください。（フルタイム勤務パパ・ママ、パートタイム勤務パパ・ママにお尋ねします。）

気になる（気になった）上位2つは「上司の目（態度・反応）が気になる（気になった）」と「同僚の目（態度・反応）が気になる（気になった）」でそれぞれ39.2%、38.0%となっており、次いで「育休が空けてすぐに次の子どもを授かると、育休を取りづらい空気がある（あった）」30.3%、「何となく職場に育休を取りづらい空気がある（あった）」24.8%となっています。一方で、「特に気になる（気になった）ことはない」と回答した人は18.4%に留まっています。

（なお、昨年度の上位2つは今年度同様、「上司の目（態度・反応）が気になる（気になった）」と「同僚の目（態度・反応）が気になる（気になった）」でそれぞれ41.9%、41.6%となっており、次いで「育休が空けてすぐに次の子どもを授かると、育休を取りづらい空気がある（あった）」24.6%、「何となく職場に育休を取りづらい空気がある（あった）」22.7%となっていました。）

n=347

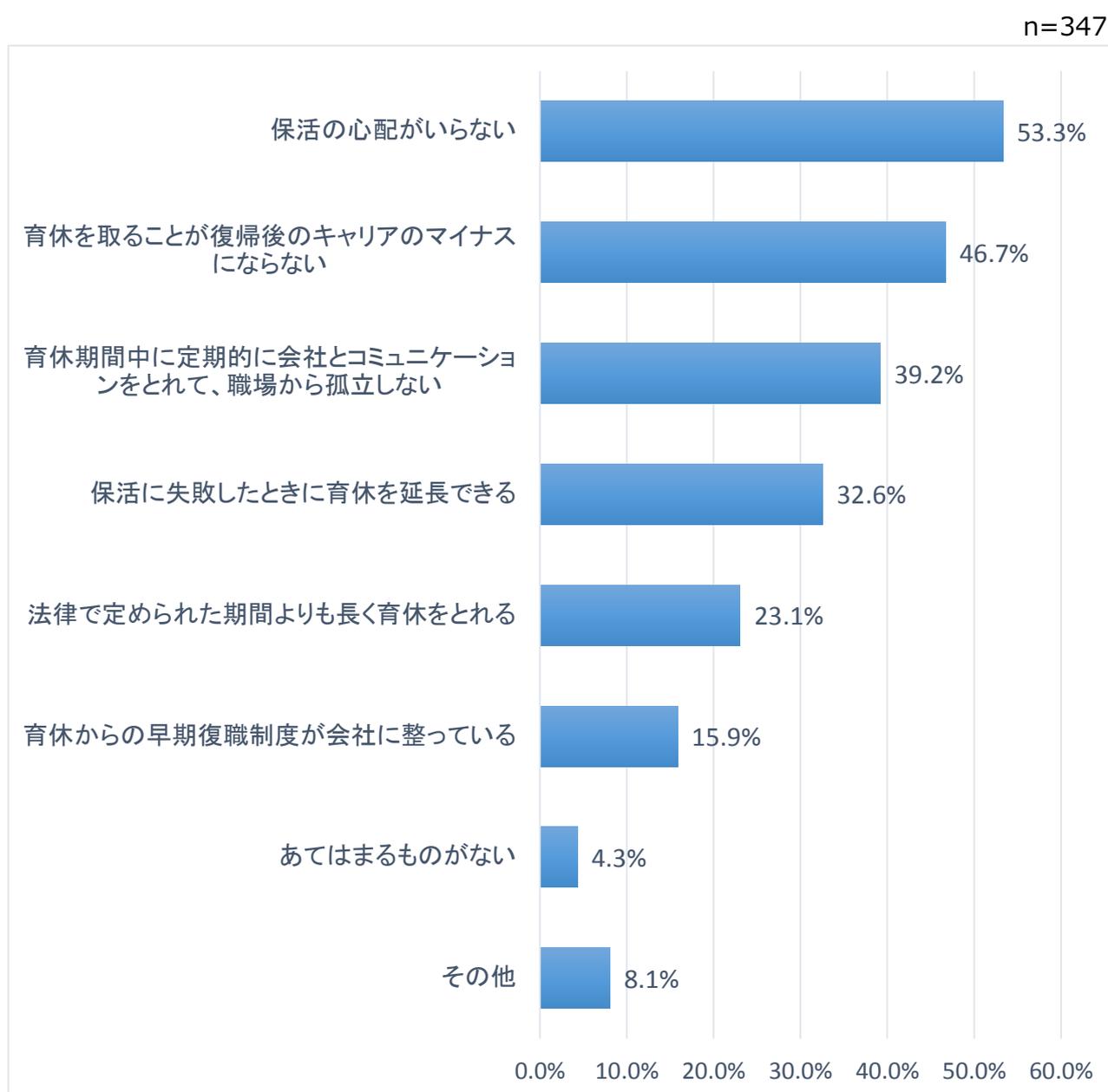


問22 あなたが育休を取得する際に、重要だと感じる理想の条件を次の中から3つまで選んでください。(フルタイム勤務パパ・ママ、パートタイム勤務パパ・ママ)

育休を取得する際に重要だと感じる理想の条件の上位3つは「保活の心配がいない」で53.3%、次いで「育休を取ることが復帰後のキャリアのマイナスにならない」46.7%、「育休期間中に定期的に会社とコミュニケーションをとれて、職場から孤立しない」39.2%で、子どもの保育所のこと、職場での立場及び職場とのつながりを重要視していることがうかがえました。

(なお、昨年度の上位3つは「育休を取ることが復帰後のキャリアのマイナスにならない」38.5%、次いで「保活の心配がいない」38.2%、「育休期間中に定期的に会社とコミュニケーションをとれて、職場から孤立しない」32.2%で今年度とほぼ同水準でした。)

「保活」……子どもを保育所に入れるために保護者が行う活動のこと

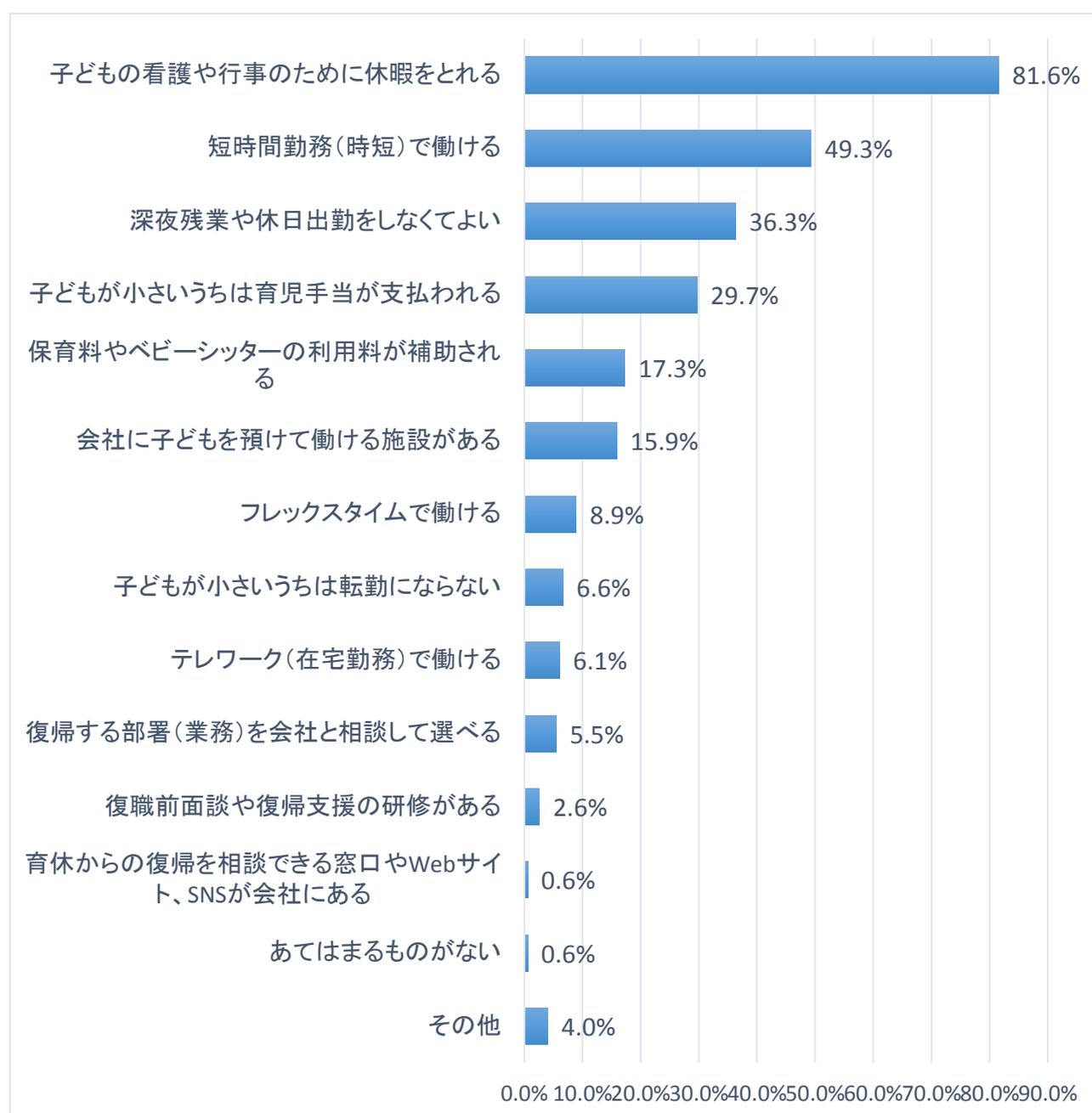


**問23 あなたが育休から復帰した後に、重要だと感じる理想の条件を次の中から3つまで選んでください。
（フルタイム勤務パパ・ママ、パートタイム勤務パパ・ママにお尋ねします。**

育休から復帰した後に重要だと感じる理想の条件の上位3つは「子どもの看護や行事のために休暇をとれる」で81.6%、次いで「短時間勤務（時短）で働ける」49.3%、「深夜残業や休日出勤をしなくてよい」36.3%で、子どもの状況に応じた柔軟な勤務の仕方等が求められていることがうかがえました。

（なお、昨年度の上位3つは今年度同様、「子どもの看護や行事のために休暇をとれる」で65.6%、次いで「短時間勤務（時短）で働ける」38.2%、「深夜残業や休日出勤をしなくてよい」30.9%でした。）

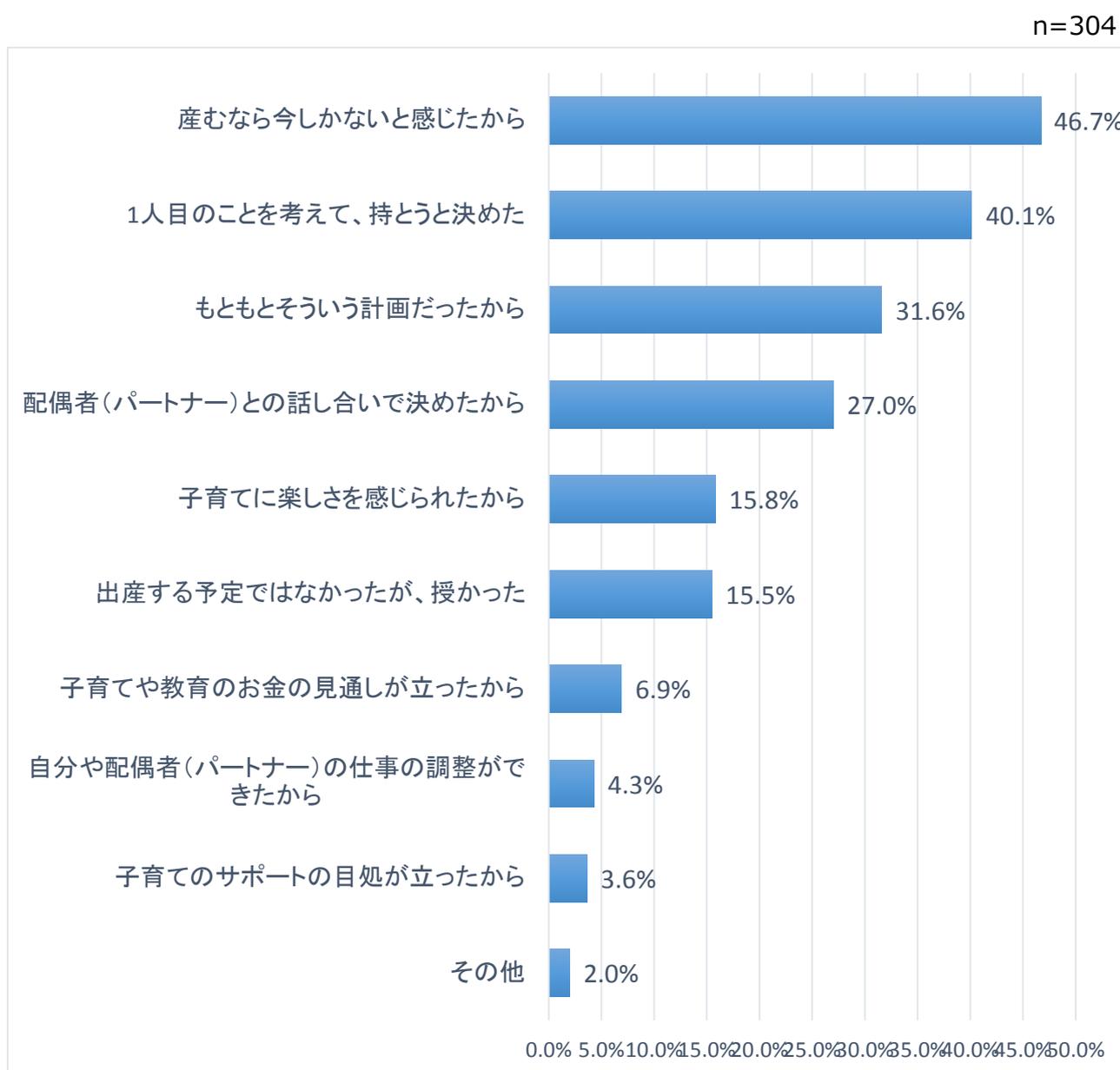
n=347



問24 2人目以降の子どもを持つことを決めたタイミングやきっかけについて理由として当てはまるものすべてを、次の中から選んでください。（お子さんを2人以上お持ちの方にお尋ねします。）

2人目以降の子どもを持つことを決めたタイミングやきっかけについて、上位3つは「産むなら今しかないと感じたから」46.7%、「1人目のことを考えて、持とうと決めた」40.1%、「もともとそういう計画だったから」31.6%となっており、2人目以降の子どもについて、計画的に持つことを決めた人が多いことが窺えます。

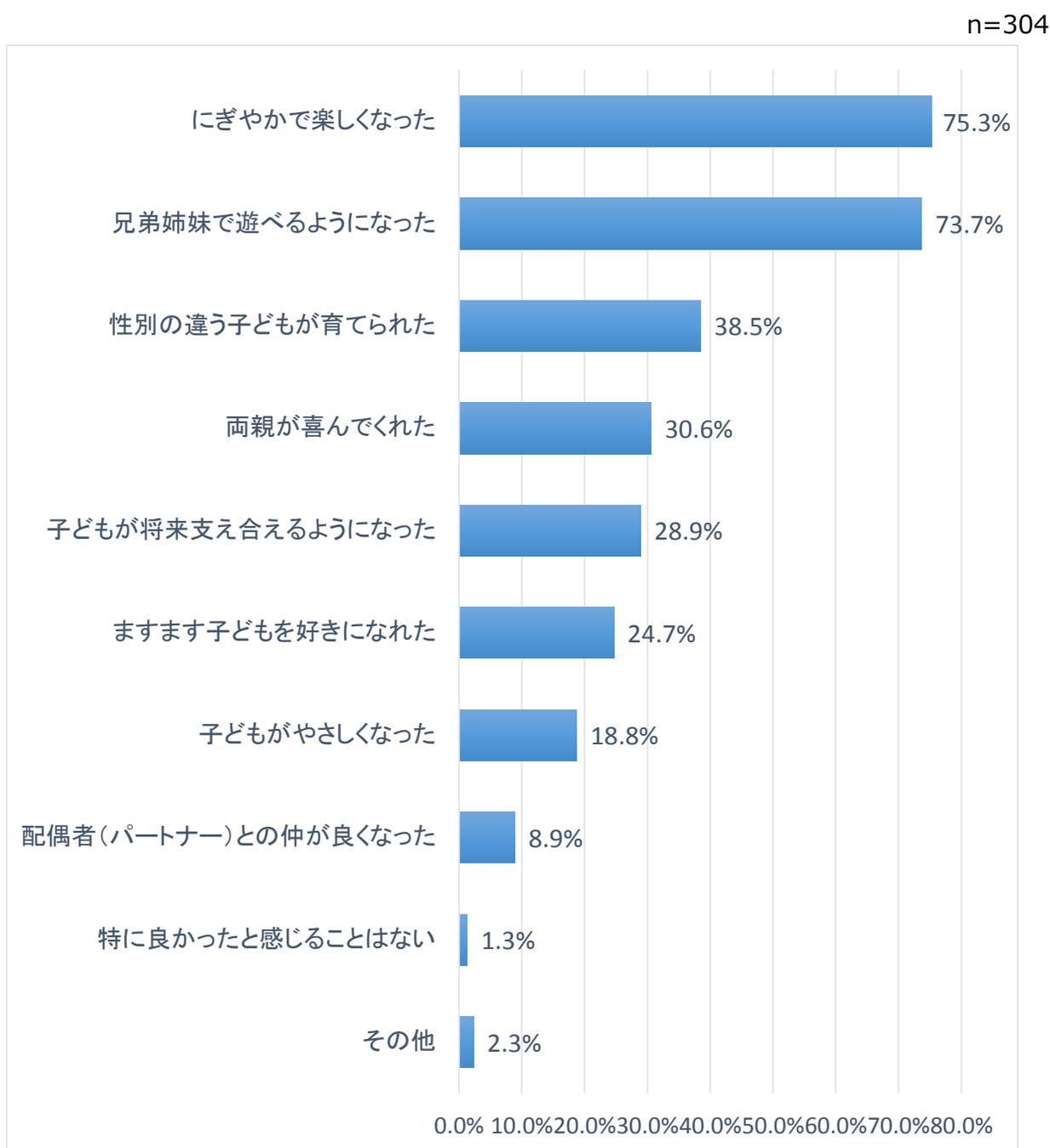
（なお、昨年度の上位3つは今年度同様、「産むなら今しかないと感じたから」51.7%、「1人目のことを考えて、持とうと決めた」45.1%、「もともとそういう計画だったから」34.4%でした。）



問25 2人以上の子どもを産んで（育てて）よかったと思ったことについて当てはまるものすべてを選んでください。（お子さんを2人以上お持ちの方にお尋ねします。）

2人以上の子どもを産んで（育てて）よかったと思ったことについて、上位2つは「にぎやかで楽しかった」75.3%、「兄弟姉妹で遊べるようになった」73.7%となっており、ほかの選択肢と比べて、突出しております。

（なお、昨年度上位2つは「兄弟姉妹で遊べるようになった」79.5%、「にぎやかで楽しかった」79.2%で今年度とほぼ同水準でした。）



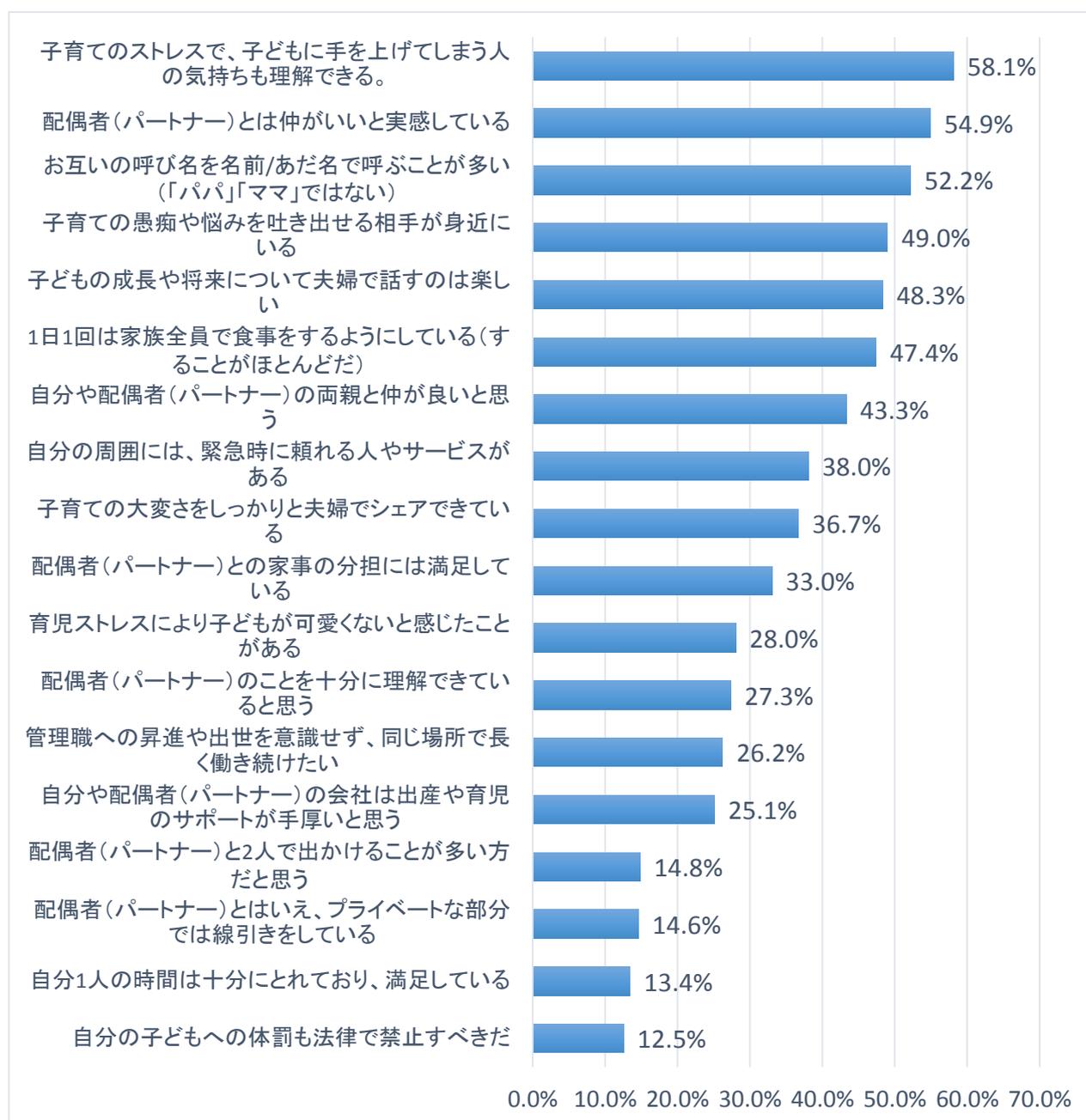
問26 子育てに関連して、次のうち、当てはまるものすべてを選んでください。

上位3つは「子育てのストレスで、子どもに手を上げてしまう人の気持ちも理解できる」58.1%、「配偶者（パートナー）とは仲がいいと実感している」54.9%、「お互いの呼び名を名前／あだ名で呼ぶことが多い（「パパ」「ママ」ではない）」52.2%となっています。また、次いで4位には「子育ての愚痴や悩みを吐き出せる相手が身近にいる」で49.0%となっています。（「子育てのストレスで、子どもに手を上げてしまう人の気持ちも理解できる」は今年度の新項目です。）

一方で、「自分や配偶者（パートナー）の会社は出産や育児のサポートが手厚いと思う」が25.1%、「自分1人の時間は十分にとれており、満足している」が13.4%など、育児環境の充実には課題が残っていることがうかがえます。

（なお、昨年度の上位3つは、「配偶者（パートナー）とは仲がいいと実感している」57.6%、「お互いの呼び名を名前／あだ名で呼ぶことが多い（「パパ」「ママ」ではない）」50.6%、「1日1回は家族全員で食事をするようにしている（することがほとんどだ）」50.4%でした。）

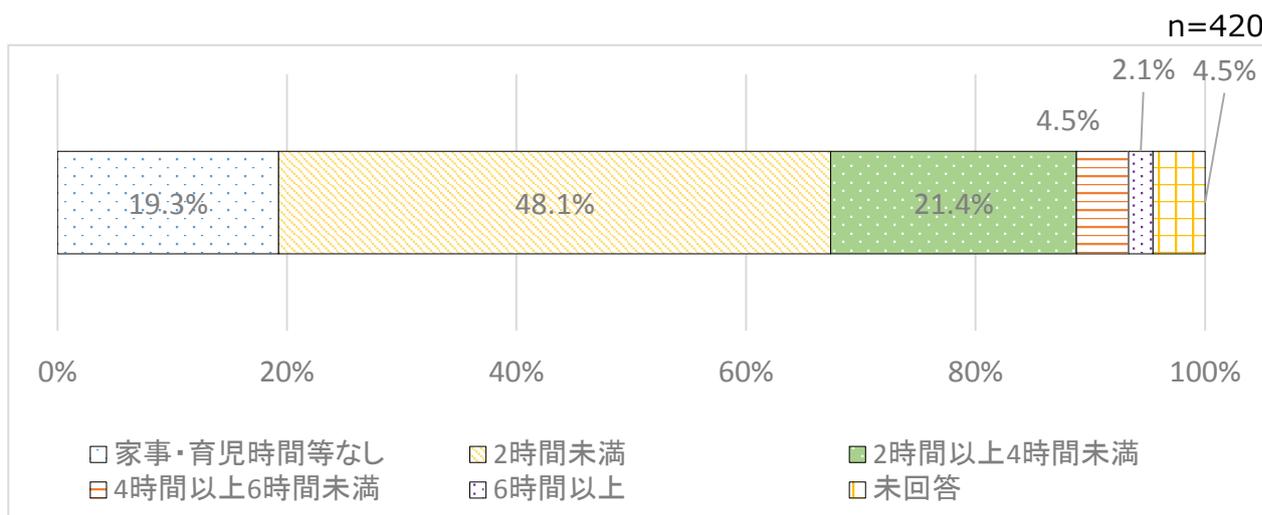
n=439



**問27-1 あなたの家庭で、パパは家事、育児・子どもの世話に『平日』は何時間くらい費やしていますか？
（家族構成が「子どもと両親」の方にお尋ねします。）**

平日におけるパパの家事や育児の時間については、「2時間未満」が48.1%最も多く、また、「家事・育児時間等なし」は19.3%となっており、平日で仕事等もあることから、パパが家庭での時間をあまり取れない状況であることがうかがえます。一方で、「2時間以上」と回答している方が、合わせて28.0%いることから、平日でも家庭や育児に協力をしているパパの存在も見受けられます。

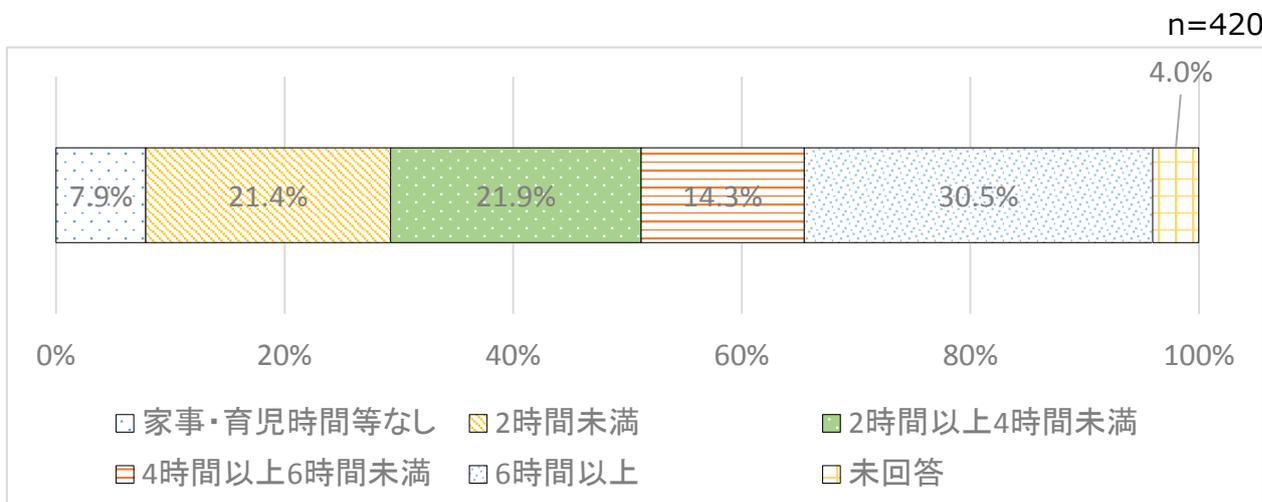
（なお、昨年度も今年度同様、「2時間未満」が44.7%と最も多く、「家事・育児時間等なし」は16.5%である一方、「2時間以上」と回答している方が、合わせて30.6%でした。）



**問27-2 あなたの家庭で、パパは家事、育児・子どもの世話に『休日』は何時間くらい費やしていますか？
（家族構成が「子どもと両親」の方にお尋ねします。）**

休日におけるパパの家事や育児の時間については、「6時間以上」が30.5%と最も多く、合わせて44.8%の人が「4時間以上」と回答しています。また、「家事・育児時間等なし」や「2時間未満」の割合も平日の67.4%と比べて、29.3%に減少しており、休日における家事や育児のパパの協力的な対応がうかがえます。

（なお、昨年度も今年度同様、「6時間以上」が30.8%最も多く、合わせて42.4%の人が「4時間以上」と回答していました。また、「家事・育児時間等なし」や「2時間未満」の割合も平日の61.2%と比べて、27.0%へ減少していました。）

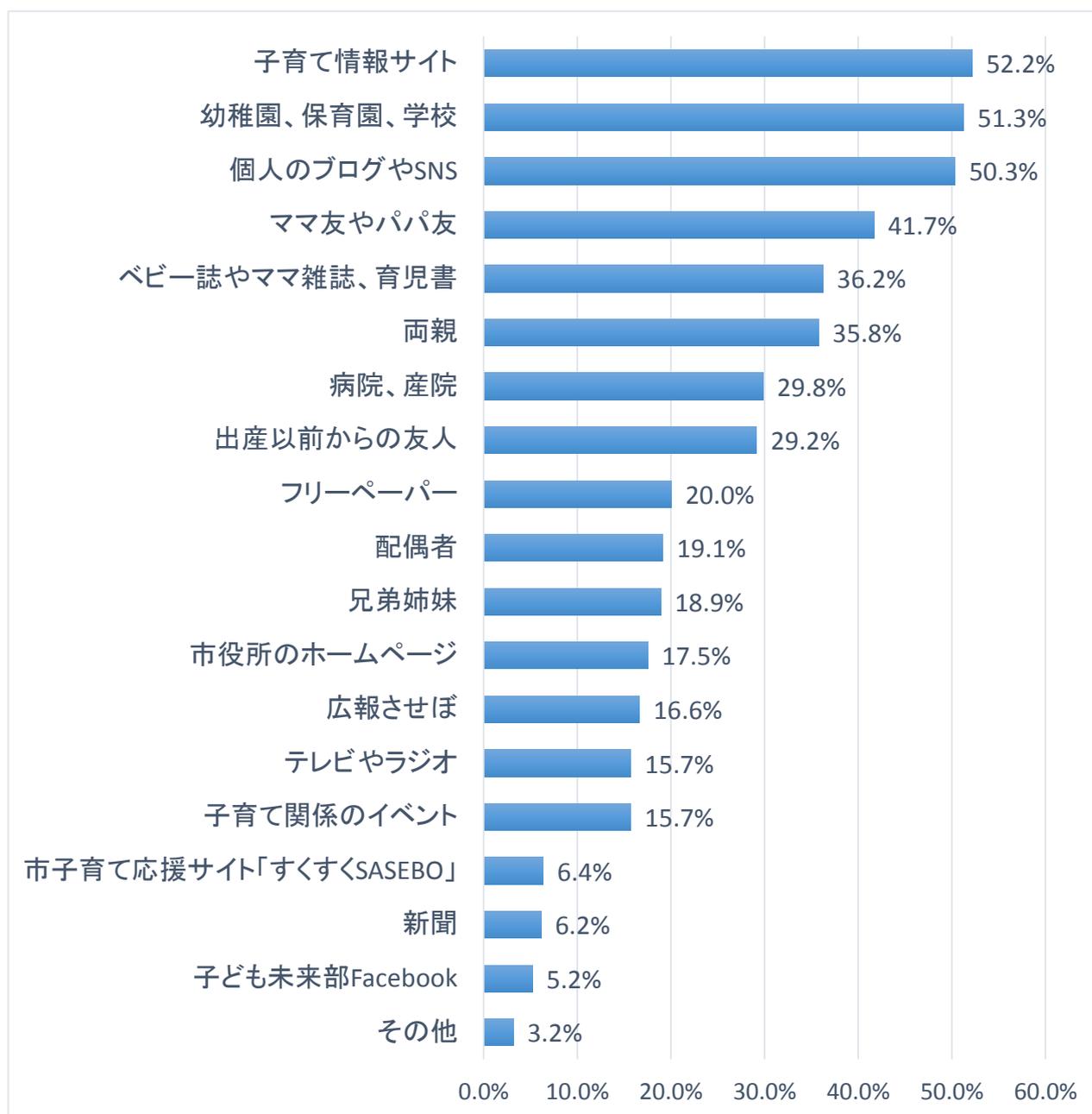


問28 出産・育児について、情報を知りたいときに頼りにしている（頼りになった）ものすべてを、次の中から選んでください。

頼りにしている（頼りになった）情報でもっとも多かったのは「子育て情報サイト」で52.2%、次いで「幼稚園、保育園、学校」51.3%、「個人のブログやSNS」50.3%、「ママ友やパパ友」41.7%となっており、多くの方がインターネットを通じて情報を得ている一方で、身近なところからの情報も頼りにしていることが窺えます。

（なお、昨年度の上位4つは、「子育て情報サイト」で53.8%、次いで「幼稚園、保育園、学校」47.0%、「個人のブログやSNS」44.3%、「ベビー誌やママ雑誌、育児書」42.6%で、今年度の4位の「ママ友やパパ友」は40.7%で5位でした。）

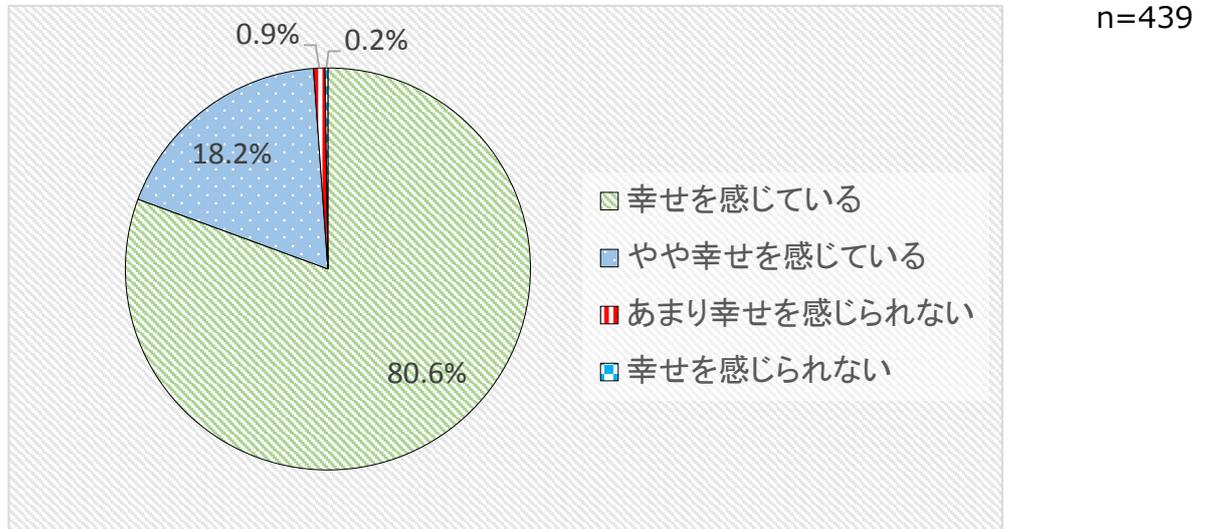
n=439



問29 お子さんをお持ちになったことで、家族の幸福感はどうですか？

子どもを持つことに対する家族の幸福感について、80.6%が「幸せを感じている」、18.2%が「やや幸せを感じている」と回答しており、98.8%の人が幸福感を感じていました。

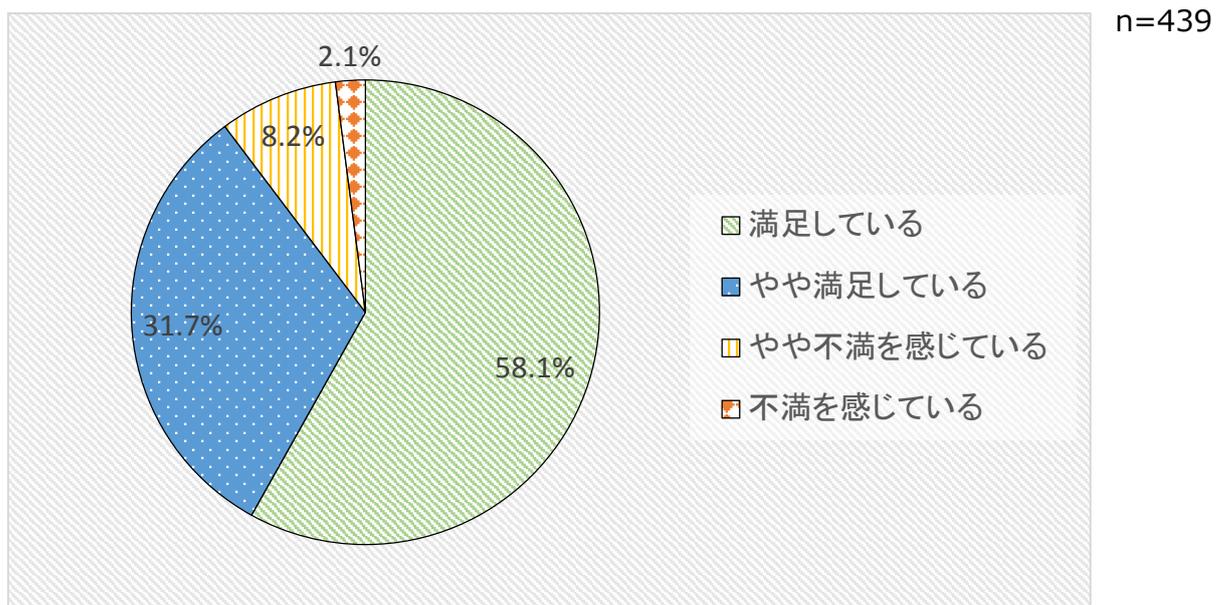
(なお、昨年度も今年度同様、85.4%が「幸せを感じている」、14.1%が「やや幸せを感じている」と回答しており、99.5%の人が幸福感を感じていました。)



問30 今、子育てしていることに対する満足感はどうですか？

子育てしていることに対する満足感については、「満足している」58.1%、「やや満足している」31.7%と回答している人がいる一方で、「やや不満を感じている」8.2%、「不満を感じている」2.1%と回答している人もいました。

(なお、昨年度は「満足している」54.9%、「やや満足している」32.9%、「やや不満を感じている」9.5%、「不満を感じている」2.7%で今年度と同水準でした。)

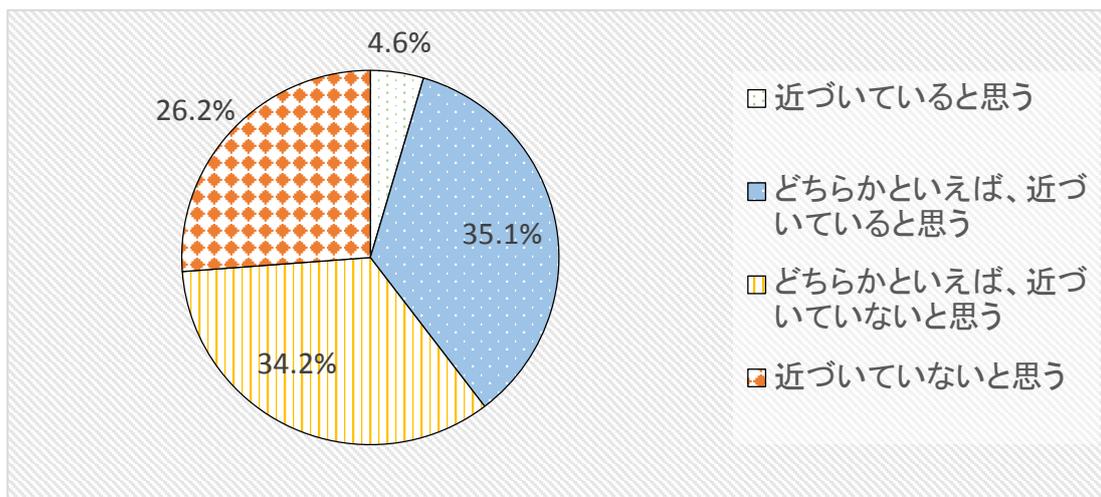


問31 佐世保市は子どもを「産みやすい」街に近づいていると思いますか？

佐世保市が子どもを「産みやすい」街に近づいているかについても、「近づいていると思う」が4.6%、「どちらかといえば、近づいていると思う」が35.1%と答えており、39.7%の方が「産みやすい街」に近づいていると思っている一方で、「近づいていないと思う」26.2%、「どちらかといえば、近づいていないと思う」34.2%と答えており、約60%の方が「産みやすい」街に近づいていないとされています。

(なお、昨年度は「近づいていると思う」8.6%、「どちらかといえば、近づいていると思う」44.7%、「どちらかといえば近づいていないと思う」24.5%、「近づいていないと思う」22.2%となっており、全体的に今年度は子どもを「産みやすい」街に近づいていると思う方の割合が減るという結果でした。)

n=439

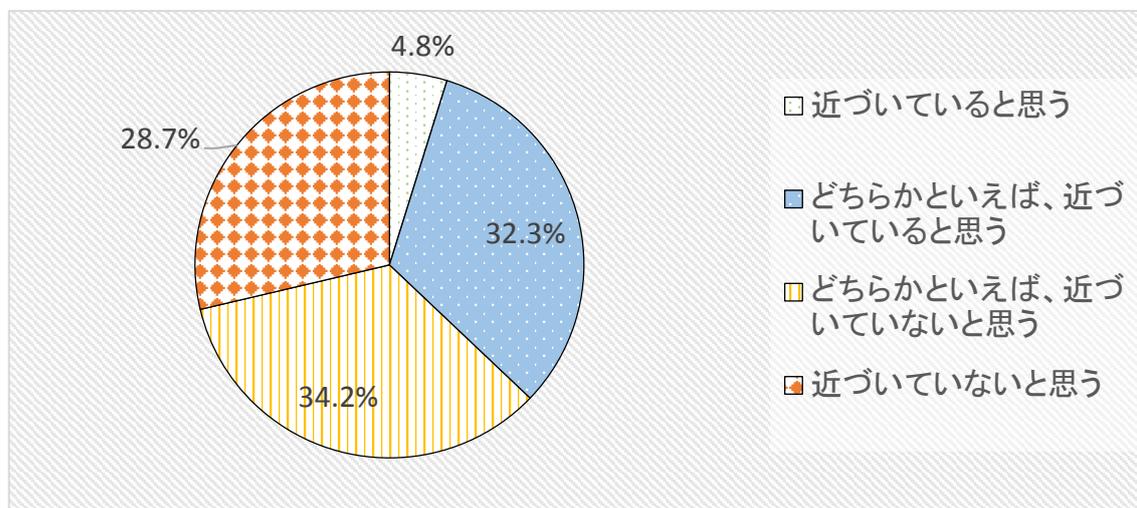


問32 佐世保市は子どもを「育てやすい」街に近づいていると思いますか？

佐世保市が子どもを「育てやすい」街に近づいているかについても、「近づいていると思う」が4.8%、「どちらかといえば、近づいていると思う」が32.3%と答えており、37.1%の方が「育てやすい街」に近づいていると思っている一方で、「近づいていないと思う」28.7%、「どちらかといえば、近づいていないと思う」34.2%と答えており、62.9%の方が「育てやすい」街に近づいていないとされています。

(なお、昨年度は「近づいていると思う」8.4%、「どちらかといえば、近づいていると思う」41.1%、「どちらかといば、近づいていないと思う」28.7%、「近づいていないと思う」21.7%となっており、全体的に今年度は子どもを「育てやすい」街に近づいていると思う方の割合が減るという結果でした。)

n=439



■その他の自由記載（プライバシー等の配慮のため、内容を一部割愛しております。）

【問12】「2人目の壁」を感じる理由として当てはまるものすべてを、次の中から選んでください。

● 経済的理由に関するもの

- ・ 児童扶養手当について、物足りなさを感じる。
- ・ 金銭的に2人以上は無理だと思う。
- ・ 転勤族で頼れる親族が近くにいない。
知らない土地での出産、育児にやや不安もある。
佐世保は他所に比べて子どもの医療費にお金がかかる。
- ・ 医療費や保育料がかさむため。
- ・ 手取り金額面。
子育てに関する親世代の虐待に対する知識の低さ。
- ・ 施設利用等にお金が倍かかってしまう。

● 家庭環境に関するもの

- ・ 産後入院中に夫の仕事が終わるまで、子どもを見てくれる人がいない。
- ・ 現在の夫の家事への貢献度があまりにも低い。
- ・ 両親が近くにいないので、自分が病気になった時や産前産後に気軽に頼れない。
- ・ 夫婦間の認識のズレ（家事、育児の負担がいかに大きい）。
- ・ 出産時、子ども達を誰が見るのか…祖父母も年齢が上で、一日中子ども達のお世話は大変な状況。せめて病院受診の際の預かってくれる場所、入院中のサポートを充実してもらえないと難しいと思う。
- ・ 実家が遠く、夫婦だけで子育てしなければならない。
- ・ 子どもが増えると負担になるPTAや子ども会の役員の仕事。
近隣に住む祖父母のサポートが得られなかったこと。
- ・ 頼れる人が周りに居ない。
- ・ 1人目の子育ての時に感じた、母親の負担、ストレスや不安感を、2人目の子育てで軽減、解消できるか、また配偶者（パートナー）や祖父母等の協力者の理解が今まで以上に必要となってくるため、それが得られるかどうか。
- ・ 市内どころか県内に頼れる人がいないこと。
- ・ 夫の不在が多く、身寄りのない生活環境の中、1人で2人の子どもを育て教育し遊びに連れて回ることへの負担。
- ・ 旦那の協力が得られず、一人で育児から家事をしないといけない。
男性側はいつでも、子どもが出来ると勘違いしている。
妊娠から出産、その後育児の大変さを旦那が理解するまでに時間がかかる。

● 子育てと仕事の両立に関するもの

- ・ 佐世保市は子育て支援が無さすぎるため。
- ・ 保育園や学童など入れるか、仕事と両立できるか不安。
- ・ PTAや子ども会など役員の仕事が大変。学童などのサービスも十分ではない。
- ・ 職場復帰した後の子育てについて不安を感じる。
サポートしてくれる人がいない、夫も仕事上、当てにならない状況では、かなり難しい。
欲しいと思って、産んでも、八つ当たりなどしないかと不安に思う。
- ・ 今が子どもとの時間と働く時間（収入面もあり、時間短縮勤務などが選択できない）との兼ね合いで子どもとの時間が少なく、十分な愛情を与える時間がない状況なので、2人目の子どもを持つとさらに子どもとの時間が減ってしまう。
時間短縮勤務であっても、給与補償があれば、もう少し子どもとの時間を取れるので2人目も考えられると思
- ・ 職場が子の看護休暇を取りづらい状況。
- ・ 出産で入院している期間の家族の心配（特に子どもの準備やごはん、保育園で必要なお弁当など）。
仕事復帰後の育児・家事と仕事の両立。
- ・ 仕事の職種による子育てのしにくさ（職種によっては子どものための休暇が取得しにくいなど）。
- ・ 時間的なこと（特に子どものお迎えとか）が働きながらだと1人育てるだけでも結構大変だと感じる所もあり、幸い近くにいる自分の親（子どもの祖父母）の協力を得られているが、2人育児は難しいかなと感じる。
- ・ 待機児童は、もうこりごり。

● その他

- ・ 第一子目の出産が大変だったので、第二子も 妊娠期間も含め出産が不安だった。
- ・ 転勤族なので妊娠のタイミングがつかめなかった。
- ・ 不妊治療における経済的、体力的な負担。
- ・ 2人目妊娠中、入院したことがあり、自分自身が妊娠することに心が折れてしまい、最初は3人欲しいと思っていたものの悩んだ。
- ・ 一時保育の利用が認可保育園で出来なかったり、パパが仕事の日の祝日のワンオペ育児、子どもが病気の時の病後児保育の人数制限、自宅外で子どもを安全に遊ばせる場所がない。
- ・ 第一子が可愛すぎて、2人目を作るのを悩みました。今までのように1人目の子どもに構ってあげられない。2人ともにたくさん愛情を注いであげられるか不安でした。
- ・ 歳が離れた時の子育ての期間。
- ・ 小さい子が泣いたり騒いだりするの「仕方ない」という寛容な意識が社会全体で足りないと思うから。
- ・ 病気。

【問14】1人目のお子さんを持つことにためらいを感じた理由として当てはまるものすべてを、次の中から選んでください。

- ・ 転勤族なので振り回すのが申し訳ないと思った。
- ・ 妊娠したらクビになった。（妊娠を機にクビを切られたのはトラウマでしかない。）
- ・ 友達や同僚との繋がりが薄れ、遊びに出かけたり飲みに行ったりなどの自分の時間がなくなる上に、仕事内容を自由に決めることができなくなり残業など仕事を優先にした生活ができなくなる。
- ・ 予定外の妊娠だったので、心の準備ができておらず、予定を立てていた旅行などを中止しなければならなくなり、その後、いつ自分の自由な時間を持てるのか不安だった。
- ・ 親世代の虐待に対する考えと世論の虐待に対する考えの認知の差があると感じた。

【問18】1人目のお子さんの妊娠・出産を理由に就労形態に変化がありましたか？パパはママ（妻）についてお答えください。

- ・ 自営業なので、仕事時間等の調整をした。
- ・ 育休途中で復帰して、短時間勤務をした。
- ・ 出産しても働きたかったが、雇ってもらえず、仕方なく退職となった。
- ・ 妊娠、産後も同じ仕事はしたが、正社員からパートに変えて時間短縮勤務にした。
- ・ 復職後、時間短縮勤務をした。（1時間短縮）
- ・ 自宅で仕事してたので、あまり感じなかった。
- ・ 育児休暇を取得したが、待機児童期間に育児休暇満了となり、やむを得ず退職した。

【問21】あなたが産休や育休を取得するにあたって気になる（気になった）ことすべてを、次の中から選んでください。

- ・ 休業補償が少ない。
- ・ 2人目の妊娠の時、産休や育休に理解のない上司がいて、悲しい気持ちになった。
- ・ 育児休暇制度自体がない。
- ・ 収入が減ってしまう。
- ・ 育休の制度はあったが、同じ時期に育休を取る方がいなかったなので、育休を取得することにためらいがあった。産休は取れるが、育休は取りづらい雰囲気があり、自分が悪いことをしているような気持ちになった。
- ・ 育休について、職場から脅されて短くした方がいたので育休をとることも考えもの。育休をとるだけで職場に一生返せないくらいの借りを作るようになってしまう。
- ・ それ以前に給料がなくなるので困る。
- ・ どうしても休みが取れない勤務形態で、旦那の協力も得られない。旦那は職場では、イクボス？活動されているが、旦那は休まない。休みは取れない！と言い、女性だけ嫌な思いをする。育休から復帰する時、どこに配属されるかが分からず、慣れるまで大変。仕事をしないことで社会から取り残された思いになる。
- ・ 以前は育休や産休を取得する際に設問のような空気があったように感じましたが、現在はそのようなことは感じられません。

【問22】あなたが育休を取得する際に、重要だと感じる理想の条件を次の中から3つまで選んでください。

- ・ 給与の全額補償。
- ・ 周囲の理解。
- ・ 病児保育室の充実（増加）と、病児保育室の保育時間の延長。
今の開園時間では、預けられない。
- ・ 育児休暇制度自体がない。
- ・ 会社は、子育て応援してくれるので問題ないですが、単純に収入が減るのが問題です。
- ・ 保育園の入園決定が復職予定の半月前にしかわからないことがあり、決まらなかったときに育休期間の変更ができない。（※2人めでの復職時にこの心配がありました）
- ・ 社会全体で、育児休暇は当然必要！ぐらいの雰囲気がほしい。乳幼児期は親子の信頼関係が構築される重要な時期だと思うので、育休を取得することが気にならないような風潮が必要。取得するにあたって、母親（父親）がストレスフルにならないような、環境づくりも必要。一時保育が気軽に利用できたり、子育てサークルが市内各所にあって、近くにあるといいのかもしれない。
- ・ 育休等に理解のある上司の存在が必要不可欠です。
- ・ 育休を取る際の事務手続の簡素化や速やかな代わりの人材の確保。

【問23】あなたが育休から復帰する際や復帰した後に、重要だと感じる理想の条件を次の中から3つまで選んでください。

- ・ 復職後、正社員だからという考え方や、役職に相応の仕事内容について、独身の人と同じ事を強要されない職場の雰囲気。
- ・ 緊急時でも対応してくれるサポーターが欲しい。
- ・ 会社は子育て応援してくれるので問題ないですが、単純に収入が減るのが問題です。
- ・ 共働きで発熱など、子どもが一番辛い時に休みにくい、会社の空気があり、それを感じるたびに鬱になりそう。
- ・ 休日や夜間にも保育ができる施設があること。

【問24】2人目以降の子どもを持つことを決めたタイミングやきっかけについて理由として当てはまるものすべてを、次の中から選んでください。

- ・ 授かった。
- ・ 自然と授かった。
- ・ 兄弟は作ってあげたかった。
- ・ 1人目がある程度の年齢に達して、今なら大丈夫だと感じたから。

【問25】2人以上の子どもを産んで（育てて）よかったと思ったことについて当てはまるものすべてを選んでください。

- ・ 上の子が下の子に優しくしたりと、兄弟がいないと育たない大事な部分が育った。
- ・ 子どもたちが自立した時に、お互いに相談、協力できる兄弟ができてよかった。

【問28】出産・育児について、情報を知りたいときに頼りにしている（頼りになった）ものすべてを、次の中から選んでください。

- ・ 従兄弟のお嫁さんに色々教えてもらっています。
- ・ ネット。
- ・ 他県（例、岡山県）のように子育てしやすい地域にしてほしい。
- ・ 佐世保で子育てをしている職場の女性の先輩。



佐世保市
子育て応援

皆様、お忙しいところ、アンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。